

目黒区美術館年報 平成14年度

目黒区美術館年報
平成14年度

目次

I. 展覧会	第39回朝日陶芸展	4
	第12回染・清流展	8
	線の迷宮(ラビリンス)	12
	日々野克彦展	17
	目黒区の美術・書	26
	めぐろの子どもたち展	31
	所蔵作品展 X VIからだと出会うとき	32
II. 教育普及事業		36
III. 入館状況		43
IV. 作品等貸出		44
V. 刊行		46
VI. 区民ギャラリー		47
VII. ボランティア		49
VIII. 美術館実習		50
IX. 名簿		51
X. 施設		52
XI. 沿革		53
XII. 案内		54

I. 展覧会

第39回 朝日陶芸展

会期：2002(平成14)年4月6日(土)～5月12日(32日間)

会場：展示室ABC 展示ロビー エントランスホール ワークショップ

主催：目黒区美術館、朝日新聞社

担当学芸員：山田敦雄

巡回スケジュール：2001年 8月30日～ 9月 4日 名古屋市・丸栄スカイル

2001年 9月15日～10月14日 滋賀県信楽町・陶芸の森信楽産業展示館

2001年10月17日～11月25日 福井県宮崎村・福井県陶芸館

2001年11月29日～12月27日 堺市・堺市立文化会館

2002年 1月26日～ 2月24日 高浜市・やきものの里かわら美術館

朝日陶芸展は、戦後日本の現代陶芸公募展の先駆となり、数多くの優れた陶芸家を世に送ってきた。39回目を迎える本年も、歴史ある陶芸展にふさわしい厳しい審査によって選ばれた、伝統的な技術のうえにさらに新たな陶芸の地平を切り開く入賞・入選作品を展示した。

●カタログ

寸法：21.0×29.7

ページ数：77ページ

内容：ごあいさつ（主催者）／第39回朝日陶芸展の審査を終えて（審査委員長 坪井明日香）／審査風景／審査所感、入賞作品／入選作品／入賞・入選者リスト／応募者プロフィール歴代入賞者・審査委員一覧／歴代グランプリ受賞作品

●ポスター

サイズ：B3

●チラシ

サイズ：A4



会場風景



ポスター

出品リスト

No	作品名	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	氏名
1	(グランプリ) Lattice receptacle	35×35×35	亀井洋一郎
2	(秀作賞) CORE IV-I	65×85×42	古川敬之
3	(秀作賞) 部屋	50×210×210	今井裕子
4	(秀作賞) LINKAGE	10×272×10	岡野昭吾
5	(特別賞 (川崎記念賞)) 草花と昆虫	13×90×60	加藤仁香
6	(奨励賞) 華の器	37×74×36	村越昭夫
7	(奨励賞) ペッツ	50×110×90	井上あかり
8	(奨励賞) ソラノムシ	30×70×50	柴田菜月
9	(奨励賞) 連形	50×235×45	秋永邦洋
10	(奨励賞) Carbonized Heads,Two Baked Balloons	40×110×64	日野田崇
11	金銅白金彩幾何文長方皿	12×60×45	小山耕一
12	宇宙のリズム No.5	13×68×68	山口重信
13	碧潤II	18.5×46×53.5	高橋直樹
14	赤い鼓動	60×81×55	葛原美穂子
15	feeling (棘、棘、棘)	26×45×45	井上志津
16	波のかたち	53×57×30	黒瀬和美
17	炭化泥彩花器	34×28×28	松本三男
18	泥彩花器	45×40×40	飯沼幸一
19	備前四面花器	58×44×44	松本頼明
20	うずまき	35×100×50	谷川美也子
21	彩鉢	31×46×37	加藤重美
22	大地より	36×50×50	松尾道代
23	青盜大皿	8×52×52	田中光謙
24	鉄絨鉢	11×54.5×54.5	古野勢兒
25	マット釉彫文皿	12.5×52.5×52.5	松永慶
26	砂漠に青い花	110×170×15	熊谷さくら
27	Germination	130×200×60	鍛治ゆう子
28	刻の記憶	31×35×32	東みを子
29	蘇生・・死滅・・	12×48×48	岩淵幸治
30	土への一歩	11×100×48	佐藤ハルコ
31	ネ・ム・ル	35×80×205	浦西健司
32	白い華	32×84×38	櫻井靖子
33	雪の波動	25×77×42	木村辰夫
34	アマデウス	7.5×47×40	阿奴
35	緋華	26×87×87	金子信彦
36	Animalize	37×100×30	大竹慎一郎
37	かわっていくもの	23×48×45	大島久美
38	束	50×100×50	加藤智也
39	「春のあくび」	50×270×50	馬場桂子
40	淵	30×90×60	泉田之也
41	備前大盆	4.5×60×60	太田冬亀
42	無題	110×240×37	正木直
43	蒼	10×77×27	上村順次郎
44	纏	75×20×25	菅野広志
45	empty (空虚)	125×85×85	斎藤由妃子
46	Signal Stop	40×150×40	渡辺志野
47	集める	3×90×90	青木拳
48	大地のUTSUWA	30×170×33	千田玲子
49	虚と実の連結	23×300×60	岸上秀一
50	作品	19×180×90	近藤敬子
51	こうばしい日々 (矢耕)	2×44×27	明光喜美子
52	リンク	20×85×45	田中礼
53	無題	15×90×30	清水志郎
54	連作 ノアの方舟	19×98×15	嶋田敏生
55	DANCE	23×90×27	清水篤

No	作品名	寸法 (高さ×幅×奥行cm)	氏名
56	連動	17×73×38	川合正樹
57	月待ちの稜	18×80×15	江崎紀子
58	散骨器/海に還る	74×95×95	阪井義彦
59	群生	57×130×90	吉村百恵
60	ネクストバッターズサークル	130×50×68	岡部元信
61	Stoned Bike	32×32×50	篠崎孝司
62	水の殻	22×80×25	深堀知子
63	滑空	37×15×227	高阪栄作
64	遠くへ…	225×28×28	松本圭嗣
65	2001.7	20×80×180	由良利枝子
66	再生	25×30×100	太田健太郎
67	風	27×225×210	寺脇三貴
68	untitled	30×140×30	高ソヨン
69	色化粧のうつわ	5×60×60	大野七実
70	魂の器	31.5×129×129	佐野由美
71	根野菜の壺	55×46×33	池田尚子
72	木の実のような器-裂	20×50×50	杉山絵子
73	魚彩彩	15×155×78	坂口亜矢
74	雲居 (kumoi) -路-	18×86×28	高橋和也
75	炎舞	60×50×50	峠幸治
76	又状門	51×47×47	若尾圭介
77	砂漠の女	190×48×40	河見美左子
78	愛のシャワー	133×35×35	扇谷美和子
79	FLOATING	10×141×47	加藤マキ
80	大地から	30×65×38	鹿島アヤ子
81	作品01	20×109×70	大竹直
82	Cutting-01	37×126×26	金正逸
83	Put it on II	7×128×29	栢菅浩
84	染付ポピー文組皿 (絵変わり6枚)	3.5×100×56	吉岡順
85	青瓷組鉢	5.5×109×40	伊東祐一
86	鑰	50×57×35	二村一益
87	夏に	67×46×46	上田久乃
88	Body	40×68×36	水谷俊雄
89	みのかさご文大皿	11×54.5×54.5	中垣忠夫
90	釉彩鉢	10×54×54	西山勇
91	備前木瓜形平鉢	8×53×53	宮尾昌宏
92	鬮具	10×156×10	中村讓司
93	骨骨	10×270×70	鈴木雄一郎
94	のびる	81×180×100	松澤恵美子
95	練上鑄鉢「豊かな緑を」	14×52×52	橋川充雄
96	泥垂器「連」	6.5×107×57	梅本孝征
97	彩泥象嵌線紋角鉢	16×54.5×54.5	羽鳥恵子
98	翠青斧II	9.5×81×37	虎澤英雄
99	微動	4.2×51.5×36	林保江
100	「GREEN RECTANGLE」	10×100×50	谷口勇三
101	染付大樹(命の樹)大皿	10×63.5×63.5	今西方哉
102	呉須絵餅文大鉢	16.5×48×46	福島寛子
103	彩泥抜文鉢	20×58×58	鈴己幸應
104	白磁鉢・湖映	13×60.5×60.5	高森誠司
105	伊賀灰釉水中花文大鉢	7.5×55×55	恒岡光興
106	宙	10×63×63	吉川幸寿
107	てのひらの想像	75×80×90	森元知里
108	沈黙-silence-	143×141×90	星巻
109	淋	50×50×100	豊田敏子
110	極光「太陽風の衣」	32×12×12	中野拓

No	作品名	寸法 (高さ×幅×奥行きcm)	氏名
111	象嵌花入	49×17×17	鈴己幸應
112	現代の諸相シリーズII《狹隘なる存在たちの狂騒》	68×139×59	渡辺ヒロ子
113	痕跡-時の力I-	110×160×280	北村信樹
114	残像の時-大地ノ皮フ-	59×80×43	宮部トモヒロ
115	square	75×75×75	鈴木智子
116	響乱八手葉	46×35×35	入江友芳
117	練上大壺	33.3×38×38	荻野萬寿子
118	青磁壺	38×37×37	坂井輝夫
119	ホワイト・トラップ	40×100×100	三方敏行

第12回 染・清流展

会期：平成14年5月18日(土)～平成14年6月23日(日) (32日間)

会場：展示室A・B・C、展示ロビー

主催：目黒区美術館

担当学芸員：山田敦雄

本展は、これまで10回続いた染・清流展で行ってきた関西・京都中心の作家選考を改め、日本全域を視野に入れて開かれた作家選考方式で選考し、広く一般の共感を得るように努め、染色のあらたな方向性を示唆した。

関連催事

講演会：「クロストーク」(対談)

出演者：河田 孝郎(染色作家)

樋田 豊次郎(東京国立近代美術館・主任研究官)

開催日：6月15日(土)午後2時～4時

会場：美術館展示室

●カタログ

寸法：21.0×29.7

●ポスター

サイズ：B3

●チラシ

サイズ：A4



会場風景



ポスター

出品リスト

No	氏名・作品名	材質	寸法 (高さ×幅×奥行き)
	麻田愔二		
1	WORKU-1	綿、樹脂顔料／ステンシル パネル	199×346cm
	伊砂利彦		
2	月の道 (「月」四部作)	手漉き和紙／型絵染 壁飾り	280×380cm
3	松林月照 (「月」四部作)	手漉き和紙／型絵染 壁飾り	280×380cm
4	山湖寒月 (「月」四部作)	手漉き和紙／型絵染 壁飾り	280×380cm
5	みずもの月 (「月」四部作)	手漉き和紙／型絵染 壁飾り	280×380cm
	石田杜人		
6	刻の真空	絹布／蠟染 パネル5点組	各165×90cm
	石塚広		
7	LAUNDRY PROJECT No.0201	綿布、木材/板締め染、その他 インスタレーション	200×600×20cm
	石原実		
8	Landscape with the sun and the moon	麻／マーブリング技法と手描き友禪との複合技法 タペストリー	200×549cm
	市村富美夫		
9	青の記憶'02-I	柿渋、顔料／スクリーン捺染 パネル	180×160cm
10	青の記憶'02-II	柿渋、顔料／スクリーン捺染 パネル	180×320cm
	井隼慶人		
11	遷る	綿布、反応性染料／蠟染 パネル	188×376cm
	大久保直丸		
12	かたちにならない雲を追って	綿布、プロシオン (反応性染料)／ソーダー灰固着法、蠟染 パネル	175×310cm
	加賀城健		
13	20メートルのストローク -光冠-	綿布、レマゾール染料／糊染、拓本技法 インスタレーション	110×2100cm
14	20メートルのストローク -見えない木、スカートの裾-	綿布、レマゾール染料／糊染、拓本技法 インスタレーション	114×2100cm
15	20メートルのストローク -それを自然の成り行きにまかせよ、-	綿布、レマゾール染料／糊染、拓本技法 インスタレーション	110×2100cm
	加藤由起		
16	中国納西族古楽会	麻布／ロウケツ染、ダック防染 パネル	175×522cm
	河田孝郎		
17	THE BENCH	シルクウール、植物染料、酸性染料／ろう防染、のり防染、コラーージュパネル	180×160cm
18	ボート	シルクウール、紗、酸性染料／ろう防染、のり防染、コラーージュパネル	180×160cm
19	境界	シルクウール、紗、植物染料、酸性染料／ろう防染、のり防染、シルクスクリーンプリントパネル	180×160cm
	喜多川七重		
20	対照-a-	絹布、植物染料、化学染料、顔料／糊防染 パネル	201×267cm
21	対照-b-	絹布、植物染料、化学染料、顔料／糊防染、着色抜染 パネル	201×267cm
	来野月乙		
22	よみがえれるか枝垂桜	宣紙、顔料／臘染 四曲屏風	168×340cm
	倉内啓		
23	水面二咲ク花	和紙、顔料／型染 (糊防染) 二曲屏風一雙半	各180×180cm

No	氏名・作品名	材質	寸法 (高さ×幅×奥行cm)
	栗原知枝		
24	日月 麻 (半洋生平)	レマゾール染料/ロウ染、ドローイング、エッチング タペストリー	300×340cm
	小林祥晃		
25	想・2002・I	絹布、酸性染料/蠟防染 額装	150×280cm
26	想・2002・II	絹布、酸性染料/蠟防染 額装	200×180cm
	澁谷和子		
27	回想	綿布/型染、ステンシル、捺染 パネル	142×400cm
	新道弘之		
28	紺布	木綿藍染/板締め 飾り布2点1組	各262×69cm
	田島征彦		
29	村の騒ぎ1	木綿布、樹脂、顔料、反応性染料/型染、樹脂顔料防染 パネル	96×74cm
30	村の騒ぎ2	木綿布、顔料、反応性染料/型染、樹脂顔料防染 パネル	105.5×82.5cm
31	村での出来事1	木綿布、顔料、反応性染料/型染、樹脂顔料防染 パネル	100×125cm
32	村での出来事2	木綿布、顔料、反応性染料/型染、樹脂顔料防染 パネル	125×100cm
	鳥羽美花		
33	かげろう	白山紬、酸性染料/型染 パネル	198×340cm
	中井貞次		
34	山河	麻布/蠟防染による藍染 四曲屏風一雙	142×642cm
	長尾紀壽		
35	神の島 (沖繩久高島)	雲肌麻紙/糊防染、ステンシル 二曲屏風一雙半	180×540cm
	ばんばまさえ		
36	ふわり	綿布/絞り染 (縫絞り)、ステンシル パネル	140×360cm
	福本繁樹		
37	あかほぞ	綿布、麻布、レマゾール染料/ろう染、布象嵌 パネル	192×192cm
38	あおほぞ	綿布、麻布、レマゾール染料/ろう染、布象嵌 パネル	192×192cm
	福本潮子		
39	朝霧	麻、アルミ棒/藍染 タペストリー	210×200cm
40	夕霧	麻、アルミ棒/藍染 タペストリー	210×200cm
	堀擘子		
41	屋久島の山と滝と杉を巡るA	ジュート、反応性染料/シルクスクリーン捺染 タペストリー	285×90cm
42	屋久島の山と滝と杉を巡るB	ジュート、反応性染料/シルクスクリーン捺染 タペストリー	285×90cm
	本田昌史		
43	Savant-Syndrome	LH 綿布/顔料スクリーンプリント パネル	220×340cm
44	箱庭療法	綿布/顔料スクリーンプリント パネル	100×180×25cm
	三浦景生		
45	夢談議IV	白山紬、植物染料、顔料/布象嵌、ステンシル、コラージュ、ドローイング 風炉先屏風	60×180cm
46	夢談議V	白山紬、植物染料、顔料/布象嵌、ステンシル、コラージュ、ドローイング 風炉先屏風	60×180cm
	三橋遼		
47	遠い水を掬って	絹、木、真鍮線、水晶/ローケツ染	180×273×273cm

No	氏名・作品名	材質	寸法 (高さ×幅×奥行きcm)
48	八幡はるみ Flowers	木綿布、絹布、反応性染料、金箔／シェイプドダイ、スクリーンプリント、 その他の技法の併用 軸装	200×660cm
49	吉引ありさ 春の雨の降りだす頃	絹、酸性染料／ろう染、ブループリント パネル	183×460cm

線の迷宮〈ラビリンス〉—細密版画の魅力

会期：2002(平成14)年7月6日(土)～9月6日(金)(54日間)

会場：展示室ABC 展示ロビー ワークショップ

主催：目黒区美術館

協賛：コダック株式会社

担当学芸員：降旗千賀子

同時開催：もう一つの展示〈さまざまな版画技法〉から—目黒区美術館収蔵の版画集より

当館が所蔵する「版画集」の中から細密表現を取り上げ、さらにその範囲を広げ、線を刻み込む細密な表現を特徴とするなどを技法とする作家10名の銅版画エッチング、エングレーヴィング、木口木版画を紹介した。昨今の版画表現の傾向は、作品自体が大型化し、多様なメディアを取り入れ、高度なテクニックにより、ますます“版画”の解釈が拡大している。こうした中で、地道に版を刻みゆく仕事は、版画の中でも地道な仕事としての細密版画に着目し、版に正面から対峙し自らの感性を刻みこむ仕事を行ってきた、または行っている作家の、ゆるぎない姿勢が感じられる細密な作品を取り上げ、“線のもつ力”や“線の厚み”、“線の緊張感”、“線の密度”という視点で構成し、鑑賞者がじっくりと版画に視線をそそげるような展示の工夫をした。

●カタログ

寸法：29.6×18.0cm

ページ数：112ページ

内容：ごあいさつ(主催者)／図版 1. 木原康行、2. 日和崎尊夫、3. 小林敬生、4. 門坂流、5. 蒲地清爾、6. 久保卓治、7. 柄澤齋、8. 清原啓子、9. 尾崎ユタカ、10. 宮崎敬介／知覚する線の旅—細密版画(降旗千賀子)／作品リスト／作家略歴／ワークショップ

●ポスター

サイズ：B2 デザイン：大石一義

●チラシ

サイズ：A2 デザイン：大石一義

●学校配布用チラシ

サイズ：A4 デザイン：木村仁美

●鑑賞の机

出品作家それぞれの原版と道具、それによって摺られた作品をケース内に展示し、座って見られるように設置した。

●《眼》版画を視る日

担当学芸員が、出品作家から提供された作品を直に来館者に提示し、版画の味方や作品の特徴などをはなした。

7月13日、20日、8月10日、18日、31日

午後2時から3時30分



会場風景



会場風景



ポスター

凡例

- カタログ掲載は作家の生年順とした。
- 各作品の項目は次のとおり。作家名、出品番号、(シリーズ名) 作品名、制作年、寸法、エディション (限定部数)、版画技法/支持体(紙)、所蔵の順。寸法はたて×よこ、単位はcm、イメージサイズ、[] 内をシートサイズとした。版画技法/の後は、支持体となる紙の具体的な名称をできるだけ表記した。
- 版画集の形態をとる作品は、はじめに本作品の版画集としてのデータを記した。
- 所蔵の記載のないものは作家蔵。

制作者	No作品名	制作年	寸法	限定部数	版画技法/支持体	所蔵
-----	-------	-----	----	------	----------	----

木原康行

1-1 ~5 版画集『死と転生』/発行年：1977、銅版画10点組/散文詩：中村真一郎/摺り：版画工房KEN (山村素夫) /限定部数：47/100
/技法/支持体：エングレーヴィング/アルシュ/編集・発行：大阪フォルム画廊

1-1	Mort 1	1977	29.9×17.2 (46.8×38.0)			目黒区美術館
1-2	Mort 2	1977	29.9×17.2 (46.8×38.0)			目黒区美術館
1-3	Mort 3	1977	29.9×17.2 (46.8×38.0)			目黒区美術館
1-4	Mort 4	1977	29.9×17.2 (46.8×38.0)			目黒区美術館
1-5	Mort 5	1977	29.9×17.2 (46.8×38.0)			目黒区美術館

1-6~10 版画集『Consequence』

発行年：1980、銅版画11点組
摺り：山村兄弟版画工房 装幀：吉野史門
限定部数：16/100
技法/支持体：エングレーヴィング/アルシュ
発行：ギャラリー上田
東京都現代美術館

1-6	Consequence 1	1978	26.5×20.8 (44.0×38.0)			
1-7	Consequence 2	1978	26.6×21.0 (44.0×38.0)			
1-8	Consequence 3	1978	26.5×20.8 (44.0×38.0)			
1-9	Consequence 8	1979	20.8×26.5 (38.0×44.0)			
1-10	Consequence 11	1980	26.8×21.0 (44.0×38.0)			

参考出品

1- 11,12 版画集『Unification』

発行年：1991、銅版画10点組
摺り：タンギー・ガリック工房 (パリ)
限定部数：50
技法/支持体：エングレーヴィング (カラー・青地に銀) /アルシュ
装幀：アトリエ・デルモン・デュバル (パリ)
発行：ギャラリー・ジャン・クロード・リエデル (パリ)

1-11	Unification 7	1991	30.5×20.0 (57.0×42.2)			
1-12	Unification 9	1991	30.5×20.0 (57.0×42.2)			

日和崎尊夫

2-1	星と魚のシリーズNo. 2	1965	15.0×16.5 (30.3×27.1)	38/50	木口木版/紙	高知県立美術館
2-2	星と魚のシリーズNo. 3	1965	16.0×15.2 (31.5×31.0)	40/50	木口木版/紙	高知県立美術館
2-3	KALPA-68-A-1	1968	23.5×27.0 (36.7×51.2)	45/50	木口木版/紙	高知県立美術館
2-4	KALPA - 69	1969	24.7×22.3 (51.3×36.8)	25/50	木口木版/紙	高知県立美術館
2-5	KALPA-69-A	1969	18.6×25.3 (36.7×51.2)	47/50	木口木版/紙	高知県立美術館
2-6	KALPA-H	1969	20.6×28.0 (36.7×51.2)	14/50	木口木版/紙	高知県立美術館
2-7	五億の風の歌	1970	13.5×23.8 (31.2×36.9)	E.A. E d.50	木口木版/紙	高知県立美術館
2-8	詩画集「卵」					

発行年：1970、木口木版画8点組

詩：嶋岡農

シートサイズ：42.0×64.0

ブックサイズ：42.0×32.0

限定部数：29/50

自刻自摺

木口木版/越前福井鳥ノ子紙

発行：シロタ画廊

目黒区美術館

*詩画集として、2つ折8葉のシートにそれぞれ下記のサイズの木口木版画が摺られている。

制作者	No作品名	制作年	寸法	限定部数	版画技法/支持体	所蔵
			19.7×18.0、12.2×10.8、7.4×6.4、7.4×6.7、23.0×14.6、13.8×16.0、17.7×8.0、22.6×26.0、22.2×26.0			
2-9	海淵の薔薇	1972	32.8×18.5 (48.8×34.3)	13/30	木口木版/紙	高知県立美術館
2-10	KALPA 夜	1972	32.8×27.5 (40.0×50.0)	20/50	木口木版/紙	高知県立美術館
2-11	版画集『薔薇刊』					
	発行年：1970、木口木版画12点組					
	シートサイズ：26.5×22.3					
	ブックサイズ：27.5×23.0 61/100					
	自刻自摺					
	木口木版/福井・鳥の子紙					
	発行：美術出版社版画友の会					
	個人蔵					
2-11	薔薇魚/3.6×10.6、2-12.花/10.8×7.6、2-13.海/6.3×9.0、2-14.樹木/7.6×8.0、2-15.寓話/9.0×5.4、2-16.凝視/10.4×6.5、					
2-17	薔薇刊/11.0×5.6、2-18.蝶/6.4×6.4、2-19.葉/6.4×10.0、2-20.焰/11.0×4.4、2-21.死/9.9×5.6					
小林敬生						
3-1	遺された部屋 No.6-A	1978	24.5×27.5 (42.0×59.3)	18/30	木口木版/雁皮、アルシュ	町田市立国際版画美術館
3-2	漂泊 No.6	1981	37.0×35.0 (49.6×58.5)	37/40	木口木版/雁皮、アルシュ	町田市立国際版画美術館
3-3	蘇生の刻 S62-8	1987	77.0×110.5 (100.0×120.0)	25/50	木口木版/雁皮、アルシュ	町田市立国際版画美術館
3-4	蘇生の刻 飛翔	1989	67.2×49.0 (89.0×60.0)	25/50	木口木版/雁皮、アルシュ	町田市立国際版画美術館
3-5	蘇生の刻 緑の星 B	1990	85.0×129.0 (110.0×150.0)	2/10	木口木版/雁皮、アルシュ	町田市立国際版画美術館
3-6	蘇生の刻 群舞94-10D	1994	83.0×207.0 (115.0×240.0)	3/10	木口木版/雁皮、アルシュ	町田市立国際版画美術館
門坂流						
4-1	ぶなの老木	1985	21.9×15.9 (36.6×28.7)	20/75	エンブレイヴィング/BFK	
4-2	昼顔	1985	23.9×17.8 (36.5×28.5)	20/75	エンブレイヴィング/BFK	
4-3	磯の生物	1988	27.0×18.8 (38.0×28.5)	2/75	エンブレイヴィング/BFK	
4-4	水晶	1988	16.2×11.4 (28.4×11.4)	8/50	エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
4-5	渦潮	1988	19.3×28.4 (28.3×39.6)	4/50	エンブレイヴィング/BFK	
4-6	山峡	1988	19.4×28.4 (28.8×38.3)	4/75	エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
4-7	流芯	1989	23.7×17.3 (39.5×28.4)	11/50	エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
4-8	折れた樹	1990	19.2×29.0 (28.1×38.0)	4/50	エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
4-9	初夏の林道	1991	21.2×30.2 (37.4×47.7)	15/75	エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
4-10	荒波	1993	14.9×36.2 (35.5×49.7)	17/75	エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
蒲地清爾						
5-1	対極<アルフレッド・クーヴィンへ>	1985	36.5×28.5 (50.3×41.0)	2/50	エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
5-2	苦悩の錬金術	1986	10.5×8.0 (27.0×19.8)	43/80	エンブレイヴィング/雁皮、ハーネミューレ	
5-3	蜃気楼	1987	60.2×45.2 (77.8×53.0)	41/50	エッチング、アクアチント/ハーネミューレ	
5-4	照射する時の天使	1990	60.0×45.5 (70.3×52.0)	8/50	エッチング、エンブレイヴィング、 アクアチント/雁皮、ハーネミューレ	
5-5	時計草	1994	10.5×9.0 (27.5×21.0)	42/100	エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
5-6	倫廻秘樹	2000	60.0×45.5 (75.5×53.3)	5/30	エッチング、エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
5-7	AMBIVALENCE	2001	36.5×30.0 (53.0×42.4)	1/50	エッチング、エンブレイヴィング/雁皮、ハーネミューレ	
5-8	魔刻認識装置	2001	18.5×15.0 (32.5×25.7)	5/50	エンブレイヴィング/雁皮、ハーネミューレ	
5-9	待合室	2002	46.0×36.3 (64.2×50.1)	2/30	エッチング、エンブレイヴィング/雁皮、ハーネミューレ	
5-10	生と死の秘樹(銅夢12話)	1999	13.0×9.0 (26.3×19.0)	13/50	エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
5-11	Shadow (銅夢12話)	1999	13.0×9.0 (26.9×18.7)	2/50	エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
5-12	終焉 (銅夢12話)	1999	12.7×9.0 (26.5×18.5)	2/50	エッチング、エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
久保卓治						
6-1	Dead Bird 1	1977	20.0×15.0 (35.0×26.3)	70/70	エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
6-2	Rabbit's Skull	1977	19.5×11.0 (38.0×23.4)	48/70	エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
6-3	Flying Fox	1986	19.7×15.8 (36.8×27.0)	15/100	エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
6-4	Dried Fish	1988	15.0×18.0 (36.8×26.5)	27/100	エンブレイヴィング/ハーネミューレ	

制作者	No	作品名	制作年	寸法	限定部数	版画技法/支持体	所蔵
6-5		Brazilian Dragonfly	1988	17.0×17.0 (38.0×28.5)	90/100	エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
6-6		Dead Siskin	1986	12.4×17.7 (37.0×26.7)	E.P. E d.100	エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
6-7		Flats in Stepney Green	1984	30.8×20.0 (44.3×32.0)	93/100	エンブレイヴィング/サマセット	
6-8		The Inner Temple	1985	35.2×21.1 (46.0×31.1)	E.P. E d.100	エンブレイヴィング/サマセット	
6-9		Battersea Power Station	1993	22.1×30.7 (34.0×46.0)	26/100	エンブレイヴィング/サマセット	
6-10		Columns, Oxford Museum	1995	23.3×16.7 (38.0×28.6)	79/100	エンブレイヴィング/サマセット	
6-11		Notre-Dame, the Spire	1997	32.0×24.8 (48.0×37.9)	99/100	エンブレイヴィング/サマセット	

柄澤齊

7-1~3 版画集『燭罪領』<「七つの大罪」による>

出版年：1975 E.P. E d.55

木口木版/雁皮、アルシュ

発行：シロタ画廊

シロタ画廊

7-1 虚栄Ⅱ 1974-75 14.4×10.2 (38.3×28.3)

7-2 貧欲Ⅱ 1974-75 14.4×10.2 (38.3×28.3)

7-3 嫉妬Ⅱ 1974-75 15.1×9.1 (38.3×28.3)

7-4 肖像Ⅶ シャルル・ボードレール 1983 17.5×16.0 (38.0×28.0) E.P. E d.70 木口木版/雁皮、アルシュ 目黒区美術館

7-5 肖像Ⅷ ルカス・クラナッハ 1983 19.9×13.1 (38.0×28.0) 47/70 木口木版/雁皮、アルシュ 目黒区美術館

7-6 肖像ⅩⅥ マティアス・グリューネヴァルト
1983 9.9×16.9 (28.0×38.0) 35/70 木口木版/雁皮、アルシュ 目黒区美術館

7-7 災いの星 1978 45.5×27.5 1/1 木口木版、コラージュ、墨/アルシュ 個人蔵

7-8 ノアの舟Ⅳ 1975 27.5×21.0 1/1 木口木版、コラージュ、墨/アルシュ 個人蔵

7-9~12 譚画集『迷宮の潭』

出版年：1981 譚：出口裕弘

ブックサイズ：42.0×31.5

シートサイズ：42.0×31.5 (片面2つ折サイズ)

E.P. E d.70

木口木版/雁皮、BFK

発行：シロタ画廊

7-9 迷宮の潭Ⅲ 1980-81 19.8×13.0

7-10 迷宮の潭Ⅳ 1980-81 17.5×16.0

7-11 迷宮の潭Ⅹ 1980-81 13.4×19.4

7-12 版画集『Translatio』

制作年：1974

発行年：1974、木口木版画10点組

シートサイズ：10.0×10.0

ブックサイズ：10.5×10.5

E.A. Ed.35

自刻自摺

木口木版、手彩色/雁皮鳥の子、BFK

発行：私版

7-12-1.Translatio 1 /2.9×2.5、7-12-2.Translatio 2 /2.9×2.5、7-12-3.Translatio 3 /2.9×2.5、7-12-4.Translatio 4 /2.9×2.5、

7-12-5.Translatio 5 /2.5×2.9、7-12-6.Translatio 6 /2.8×2.5、7-12-7.Translatio 7 /2.9×2.5、7-12-8.Translatio 8 /2.9×2.5、

7-12-9.Translatio 9 /2.5×3.9、7-12-10.Translatio 10 /3.9×3.9

清原啓子

8-1 鳥の目レンズ 1978 32.6×44.4 (59.3×76.0) P.E.8-1~9 (1990年深沢幸雄監修による後摺り)

エッチング、アクアチント/紙 目黒区美術館

8-2 後日譚 1980 51.8×42.7 (67.1×51.5) P.E. エッチング、アクアチント/紙 目黒区美術館

8-3 雨期 1980 53.5×43.5 (65.9×50.9) P.E. エッチング/紙 目黒区美術館

8-4 領土 1981 49.4×40.8 (61.5×50.8) P.E. エッチング/紙 目黒区美術館

8-5 卵形のスフィンクス 1981 20.5×25.0 (31.5×39.1) P.E. エッチング/紙 目黒区美術館

8-6 九生十蘭に捧ぐ 1982 55.8×31.8 (70.3×45.9) P.E. エッチング/紙 目黒区美術館

制作者	No	作品名	制作年	寸法	限定部数	版画技法/支持体	所蔵
8-7		詩人・クセノファネス		54.7×34.0 (69.9×47.1)	P.E.	エッチング/紙	目黒区美術館
8-8		孤島	1987	36.3×34.3 (54.3×50.1)	P.E.	エッチング/紙	目黒区美術館
8-9		魔都	1987	46.0×56.5 (53.5×71.5)	P.E.	エッチング/紙	目黒区美術館
尾崎ユタカ							
9-1		COUNTRY	1995	3.5×6.7 11.1×16.0	A.P. Ed.30	エンブレイヴィング、ドライポイント/ハーネミューレ	
9-2		VATICANO	1997	6.7×3.5 16.0×11.0	A.P. Ed.50	エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
9-3~9		版画集『星』 出版年：1998、銅版画7枚組 ブックサイズ：12.5×17.5 限定部数：H.C. Ed.20 装幀：藤井敬子 発行：ガレリア・グラフィカ					
9-3		星のコレクター	1998	4.5×2.4 (16.0×11.2)		エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
9-4		星のスケッチ	1998	4.5×2.4 (16.0×11.2)		エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
9-5		星空の散歩	1998	4.5×2.4 (16.0×11.2)		エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
9-6		星の牧場	1998	4.5×2.4 (16.0×11.2)		エンブレイヴィング、メゾチント/ハーネミューレ	
9-7		星の子	1998	4.5×2.4 (16.0×11.2)		エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
9-8		星の湖	1998	2.1×4.1 (11.0×16.0)		エンブレイヴィング/ハーネミューレ	
9-9		ひと休み	1998	4.5×2.4 (16.0×11.2)		エンブレイヴィング、メゾチント/ハーネミューレ	
9-10		WATER-FACE	1997	6.3×12.2 (14.8×20.9)	A.P. Ed.70	エンブレイヴィング、メゾチント/ハーネミューレ	
9-11		流れ星	2000	6.0×12.0 (14.5×21.1)	A.P. Ed.100	エンブレイヴィング、エッチング、メゾチント/ハーネミューレ	
9-12		星の夜	2000	6.3×12.2 (14.8×21.0)	A.P. Ed.70	エンブレイヴィング、エッチング、メゾチント/ハーネミューレ	
9-13		少女と子犬	2001	6.7×12.7 (14.7×21.0)	A.P. Ed.120	エンブレイヴィング、エッチング、メゾチント/ハーネミューレ	
9-14		DRAWING	2001	6.6×12.7 (15.0×20.5)	A.P. Ed.100	エンブレイヴィング、エッチング、メゾチント/ハーネミューレ	
9-15		KENDOH BOYS	1998	3.4×6.8 (11.2×16.0)	A.P. Ed.70	エンブレイヴィング、エッチング/ハーネミューレ	
9-16		水と火の構え	1999	4.9×9.3 (12.6×18.0)	A.P. Ed.100	エンブレイヴィング、エッチング/ハーネミューレ	
9-17		KOTE!!	2000	4.3×8.4 (12.7×18.2)	A.P. Ed.100	エンブレイヴィング、エッチング、メゾチント/ハーネミューレ	
9-18		えいやー!!	2001	3.2×5.5 (11.0×16.1)	A.P. Ed.50	エンブレイヴィング、エッチング、メゾチント/ハーネミューレ	
9-19		運動会	2000	2.7×5.7 (11.2×16.0)	A.P. Ed.50	エンブレイヴィング、エッチング、メゾチント/ハーネミューレ	
9-20		組体操	2001	4.9×2.8 (16.2×11.1)	A.P. Ed.50	エンブレイヴィング、エッチング、メゾチント/ハーネミューレ	
宮崎敬介							
10-1		いにしへの道	1996	12.1×17.0 (27.0×34.0)	A.P. Ed.30	木口木版/雁皮、アクアレラルシユ* 版木を展示	
10-2		理性の鍵穴	1995	25.0×19.1 (35.9×29.1)	A.P. Ed.30	木口木版/雁皮、BFK	
10-3		緑の呼び声	1996	16.8×12.0 (29.4×23.8)	27/30	木口木版/雁皮、アクアレラルシユ	
10-4		果てなき世界	1996	16.5×14.7 (34.5×27.7)	A.P. Ed.30	木口木版/雁皮、BFK	
10-5		深海庭園	1996	15.0×20.1 (26.1×33.7)	A.P. Ed.20	木口木版/雁皮、アクアレラルシユ	
10-6		森は刻む	1998	17.2×10.3 (35.4×27.3)	A.P. Ed.50	木口木版/雁皮、BFK	
10-7		嵐が丘	1998	12.1×17.0 (27.0×34.0)	A.P. Ed.50	木口木版/雁皮、BFK	
10-8		満ち潮	1998	10.2×10.2 (36.1×27.7)	A.P. Ed.50	木口木版/雁皮、BFK	
10-9		石の海	1999	17.0×12.0 (37.5×28.2)	A.P. Ed.50	木口木版/雁皮、BFK	
10-10		放浪時代	2000	10.7×17.3 (27.8×37.3)	A.P. Ed.50	木口木版/雁皮、BFK	

日比野克彦展

—ある時代の資料としての作品たち—

会期：2002年9月28日(土)～11月15日(金) (42日間)

会場：目黒区美術館 展示室ABC 展示ロビー ワークショップ 屋外ワークショップ

主催：目黒区美術館、毎日新聞社

担当学芸員：矢内みどり

巡回スケジュール： 2001年9月15日～10月28日 いわき市美術館
2001年11月17日～2002年2月12日 神戸ファッション美術館
2002年4月19日～6月30日 新津市美術館
2002年7月12日～9月16日 徳山市美術博物館
2002年11月23日～12月23日 宮崎県立美術館

日比野克彦(1958年生まれ)は、1980年代の初めに、後にトレードマークになダンボールを素材とした斬新な作品でデビューし、軽いフットワークで活動の幅を拡げ、1955年には、第46回ヴェネツア・ヴィエンナーレに出品するなど、現代日本のアートシーンに欠かせない存在である。絵画、オブジェ、舞台美術、パフォーマンス、映像、デザインと多くのジャンルで、常に社会とのかかわりをつめてきた日比野の20年にわたる作品を展示し、公立館6館共通のワークショップテーマを設けて、それぞれの地域の特性と時代性を表現した。

関連催事(目黒区美術館)： *日比野克彦によるワークショップ「目黒川河川(メダログワカセン)
～初めて橋の上で立ち止まったのは何処ですか?」

- *日比野克彦のサイン会
- *小学生のためのギャラリートour

関連催事(他会場)： *日比野克彦の映像作品とトークショウ(めぐろパーシモンホール大ホール)
*日比野克彦のインスタレーション：作品と映像(中目黒GTプラザホール)

●カタログ

サイズ：18×24.7cm
ページ数：227ページ
デザイン：日比野克彦

内容：謝辞/ごあいさつ/目次/エッセイ「色について」日比野克彦/作品図版+活動年譜/シナリオ「北品川四谷線」第1～30話/
「日比野克彦のワークショップ」荒井直美/ワークショップ「何処に帰るのですか」計画書/対談「<流動体>日比野克彦をめぐって」
野田秀樹×日比野克彦/「超伝動」福田繁雄/「懐かしさのウロボロス」木野衣/「日比野克彦 時代を映すメッセージ」
植田玲子/文献/出品リスト

●ポスター

サイズ：B2縦位置 B3横位置
デザイン：日比野克彦

●ちらし

サイズ：A4
デザイン：日比野克彦



ポスター

●主要関連記事

- 「東京とネットで生中継 日比野克彦展をPR いわき市立美術館」
『毎日新聞』福島 2001年8月24日
「日比野克彦展 ネットでPR」
『毎日新聞』山口 2001年8月24日
「ネット生中継できょう神戸紹介 日比野克彦展控え」
『毎日新聞』はんしん・あわじ・こうべ 2001年8月26日
「日比野さん同時テロ題材に即興制作 いわき市で」
『毎日新聞』福島 2001年9月13日
「時代の息吹」パワフルに 代表作を一挙紹介 日比野克彦展～ある時代の資料としての作品たち [特集 日比野克彦展]
『毎日新聞』2001年9月12日 25面
「日比野克彦展① PRESENT AIRPLANE 2300分の1の幸運」
『毎日新聞』ふくしまワイド 2001年10月10日
植田玲子「日比野克彦展② SHOE 制作リズムが符合」
『毎日新聞』ふくしまワイド 2001年10月11日
植田玲子「日比野克彦展③ 白い塊のすくいショベル 開発優先に警告」
『毎日新聞』ふくしまワイド 2001年10月12日
植田玲子「日比野克彦展④ NITO 矛盾、危機感伝え」
『毎日新聞』ふくしまワイド 2001年10月13日
植田玲子「日比野克彦展⑤ 明日のこと 出会いを自然体で」
『毎日新聞』ふくしまワイド 2001年10月16日
「走れば時代がついてくる アーティスト日比野克彦 [創るアングル]」
『日経新聞』2002年3月31日 27面
浜田久仁雄「日比野克彦展 作品紹介①」
『毎日新聞』神戸・明石・三木・淡路 2001年12月19日
浜田久仁雄「日比野克彦展 作品紹介②」
『毎日新聞』神戸・明石・三木・淡路 2002年1月10日
浜田久仁雄「日比野克彦展 作品紹介③」
『毎日新聞』神戸・明石・三木・淡路 2002年1月11日
浜田久仁雄「日比野克彦展 作品紹介④」
『毎日新聞』神戸・明石・三木・淡路 2002年1月12日
荒井直美「SWEATY JACKET 日比野克彦展①」
『毎日新聞』新潟 2002年4月23日
荒井直美「パリーモスクワー北京ラリーカー ランドクルーザー 日比野克彦展②」
『毎日新聞』新潟 2002年4月24日
荒井直美「NITO 日比野克彦展③」
『毎日新聞』新潟 2002年4月25日
荒井直美「「誘拐したい」日比野克彦展④」
『毎日新聞』新潟 2002年4月26日
荒井直美「「FIFAワールドカップホストシティーポスター」日比野克彦展⑤」
『毎日新聞』新潟 2002年4月27日
「1980年代の日比野克彦」
『かるちゃあ通信花鳥』No. 86 徳山市文化振興財団発行 2002年6月号
松本久美子「日比野克彦展 ある時代の資料としての作品たち」
『かるちゃあ通信花鳥』No. 87 徳山市文化振興財団発行 2002年7月号
「1990年代の日比野克彦」[日比野展レポート1 ～日比野さん、徳山に来る～]
『かるちゃあ通信花鳥』No. 87 徳山市文化振興財団発行 2002年7月号
松本久美子「日比野克彦展1 凹凸ある作品で新風」
『毎日新聞』下関 2002年7月2日
松本久美子「日比野克彦展2 若い世代から支持」
『毎日新聞』山口 2002年7月3日
松本久美子「日比野克彦展3 言いたいことを表現」
『毎日新聞』山口 2002年7月4日
松本久美子「日比野克彦展4 現代社会のもろさ演出」
『毎日新聞』山口 2002年7月5日
松本久美子「日比野克彦展5 鑑賞者を「裏切る」」
『毎日新聞』山口 2002年7月6日
松本久美子「日比野展レポート2 ～展示編」
『かるちゃあ通信花鳥』No. 88 徳山市文化振興財団発行 2002年8月号

「絵に見つけた自己表現 アーティスト日比野克彦さん [教育新世紀 あのころ]」
『読賣新聞』2002年8月26日 26面
松本久美子「日比野克彦展 ある時代の資料としての作品たち」[日比野克彦 [クローズアップ インタビュー]]
『ART LETTER』創刊号 (財) 目黒区芸術文化振興財団発行 2002年9月5日
山縣章子「日比野克彦さんが回顧展 目黒区美術館で280点の作品展示 28日から」
『毎日新聞』とうきょう 2002年9月25日 27面
「新たな挑戦ワークショップ 未知のアート誕生の予感 日比野克彦展～ある時代の資料としての作品たち [特集 日比野克彦展]」
『毎日新聞』2002年9月27日 27面
『日々の新聞』2002年9月28日 いわきびーの発行 全8面
「絵画からポスター、映像まで 日比野克彦、20年の全貌を公開! [catch! the news]」
『びあ』2002年9月30日号 18頁
「アーティスト・インタビュー 日比野克彦」
『美術手帖』2002年10月号 116-123頁
藤田一人「日比野克彦展 素朴な芸術信奉 [美術]」
『公明新聞』2002年10月8日5面
矢内みどり「日比野克彦展作品紹介① 若者の文化を代弁」
『毎日新聞』とうきょうワイド 2002年10月8日 26面
矢内みどり「日比野克彦展作品紹介② 言葉に対し独特の感性」
『毎日新聞』とうきょうワイド 2002年10月12日 24面
須藤晃「「気になるもの」橋周辺でスケッチ 「日比野克彦展」でワークショップ 20ヵ所60枚をつなぎ合わせ一つの作品に」
『毎日新聞』2002年10月14日
石川健次「2代目「丸ビル」を訪ねるアーティスト日比野克彦氏 [特集ワイド2]」
『毎日新聞』2002年10月16日夕刊 3面
矢内みどり「日比野克彦展作品紹介③ 米同時テロに心を痛め」
『毎日新聞』とうきょうワイド 2002年10月16日 26面
矢内みどり「日比野克彦展作品紹介④ 社会との関わり率直に」
『毎日新聞』とうきょうワイド 2002年10月18日 24面
矢内みどり「日比野克彦展作品紹介⑤ モノを作り体験を共有」
『毎日新聞』とうきょうワイド 2002年10月19日 22面
“Hibino Data on Our Times,” /THE DAILY YOMIURI/, Oct. 31, 2002
「日比野克彦展—ある時代の資料としての作品たち—」
『Palette』(宮崎県立美術館だより [パレット]) No. 26 2002年11月1日 2頁
大西若人「ヒビノは「工作の王様」! [ナビゲーター]」
『朝日新聞』2002年11月1日夕刊 10面
上村恭子「日本のアートシーン疾走20年 日比野ワールド見る驚く遊ぶ [アート三昧]」
『毎日中学生新聞』2002年11月3日 4-5面
武居利史「平凡な非凡さ 日比野克彦展」
『しんぶん赤旗』2002年11月13日 9面
阿部知代「2002 My Best 5 [2002年私のベスト5]」
『Weekly びあ』2002年12月23日号
インスタレーション・文 日比野克彦「St. Rops, volume 7」
『セサミ Sesame』第29巻第1号 2003年1月号 26-27頁
「ピリエ」日比野克彦展 ある時代の資料としての作品たち 特集
2003年3月25日号 目黒区美術館館ニュース



会場風景

出品リスト

作品No	作品名	制作年	サイズ (cm縦×横)	素材
1	APRIL	1980	50×39	ダンボール他
2	MAY	1980	50.5×39	ダンボール他
3	WEDDING CAKE	1980	43×45×45	ダンボール他
4	WATCH	1981	24×21×21	ダンボール他
5	UPTIGHT	1981	71×49.5	ダンボール他
6	PANTS	1981	51×65×30	アクリル絵具他
7	DERBY	1981	73×42	ダンボール他
8	BOW	1981	38.5×52	ダンボール他
9	RUNNING	1981	37.3×72.5	ダンボール他
10	BOWLING	1981	45.5×37	ダンボール他
11	CROSSING	1981	89×66	ダンボール他
12	BOEING	1981	60.5×73	ダンボール他
13	SLOPE : 45	1981	64.7×46	ダンボール他
14	EIGHT	1981	62×92	ダンボール他
15	I'M NEVER GOING BACK TO LAND AGAIN	1981	31.4×52.5	ダンボール他
16	PINE TREE ON THE LANDING	1981	73×37	ダンボール他
17	1950 LONDON 5AM	1981	52×38	ダンボール他
18	AIRPLANE CRAZY	1981	33×41	ダンボール他
19	PACHINKO MAN	1981	33×41	ダンボール他
20	FIRST CLASS	1982	35×49	ダンボール他
21	OCEAN	1982	31.5×75	ダンボール他
22	EN FAMILLE	1982	43.2×32.4	ダンボール他
23	PITCHER	1982	31×26	ダンボール他
24	CATALOGUE	1982	76×49.5	ダンボール他
25	1939	1982	34×51.7	ダンボール他
26	ORCHESTRA	1982	33×33	ダンボール他
27	BUS STOP	1982	48.5×37	ダンボール他
※28	A,B CAKE	1982	34.5×42	ダンボール他
※29	THE CHRYSLER	1982	35×57.5	ダンボール他
30	A BLACK AND WHITE DAPPLED HORSE	1982	34.5×42	ダンボール他
※31	THE PIANO	1982	42×62	ダンボール他
32	PRESENT BOX	1982	44.3×24×29.2	ダンボール他
33	PRESENT SHOE	1982	72.8×103	ダンボール他
34	PRESENT AIRPLANE	1982	72.8×103	ダンボール他
35	PRESENT SOCCER	1982	72.8×103	ダンボール他
36	SOOOO YOUNG !	1982	103×72.8	ダンボール他
37	ONE MORE ICE	1982	102×73	ダンボール他
38	TAKA TAKA BOW	1982	102×72	ダンボール他
39	ERROR	1982	101×88	ダンボール他
40	RED HIGH HEELS	1982	72.8×51.5	ダンボール他
41	EIFFEL TOWER	1982	72×31×3	ダンボール他
42	SWEATY JACKET	1982	106.7×83×22	アクリル絵具他
43	PAPER MODEL	1982	35×66×4	ダンボール他
44	TELEVISION	1982	23×49×47	ダンボール他
45	FLYING AIRPLANE	1982	99.5×72.2×1	ダンボール他
46	FLYING MACHINE	1982	33.4×21×32	ダンボール他
47	167 SHOES	1983頃	100.6×52.5	ダンボール他
48	SHINJUKU SPECIAL	1983	72.8×103	ダンボール他
49	STAMINA	1983	106.8×76	ダンボール他
50	TYPEWRITER	1983	102.5×131.9	ダンボール他
51	GUN	1983	30.2×40.3×6.5	ダンボール他
52	KILTING	1983	42.2×49.8	ダンボール他
53	TILES	1983	103×72.8	ダンボール他
54	DOG OF THE DOOR	1983	103×72.8	ダンボール他
55	STAIRS	1983	103×72.8	ダンボール他

作品No	作品名	制作年	サイズ (cm縦×横)	素材
56	SHOE	1983	13×17×37	ダンボール他
57	GLOVE	1983	55×49×24.1	ダンボール他
58	SURPRISING BOX	1983	61×42.4×43.5	ダンボール他
59	Tic-Tac	1984	8.9×12.5×2	ダンボール他
60	MAKE UP KIT	1984	14×13×10	ダンボール他
61	CHEWING GUM VENDING MACHINE	1984	66×46.5×33.3	ダンボール他
62	UPRIGHT PIANO	1984	85×70×55	ダンボール他
63	GRAND PIANO	1984	170×172×191	ダンボール他
	GRAND PIANO 椅子	1984	55×36×36	ダンボール他
64	ONE NIGHT A DAY	1984	241×372×120	ダンボール他
65	CIGARETTES	1985	17.8×9.8×4.3	ダンボール他
66	THREE-PIECES COSMETIC SET マニキュア	1985	25.5×11.2×5.8	ダンボール他
	THREE-PIECES COSMETIC SET クリーム	1985	7.6×10×10	ダンボール他
	THREE-PIECES COSMETIC SET リップスティック	1985	8.3×4.7×5	ダンボール他
67	SKETCH FOR THE SERIES ON THE HUMAN BODY	1985	31.8×25.7	アクリル絵具他
68	SKETCH FOR THE SERIES ON THE HUMAN BODY	1985	31.8×25.7	アクリル絵具他
69	SKETCH FOR THE SERIES ON THE HUMAN BODY	1985	31.8×25.7	アクリル絵具他
70	NEWZ 5	1985	206×187	ダンボール他
71	NEWZ 7	1985	206×187	ダンボール他
72	グラマラス日記1	1985	39×54.5	墨、ケント紙
73	グラマラス日記2	1986	40×51.5	墨、ケント紙
74	グラマラス日記3	1986	39.7×53.3	墨、ケント紙
75	グラマラス SQUARE TABLE	1986	72×122×122	アクリル絵具他
76	グラマラス皿	1986	30.5×30.5	陶
	グラマラス皿	1986	31.5×31.5	陶
77	グラマラス皿の上の食べ物	1986	30.5×30.5	陶
78	孫悟空	1986	53.5×36.5×6.5	ダンボール他
79	AMERICAN UNDERWATER	1987	37.8×53.2×3.7	ダンボール他
80	LAVABO	1987	139×82×70	ダンボール他
81	ビスクギャラリークロック	1987	65×65×14.3	ダンボール他
82	DEP' T STORE TABLE & CHAIR テーブル	1987	75×131×102	鉄、木、釘
	DEP' T STORE TABLE & CHAIR 椅子	1987	134×47.5×39	鉄
	DEP' T STORE TABLE & CHAIR 椅子	1987	93×52×43	鉄
	DEP' T STORE TABLE & CHAIR 椅子	1987	127.5×56×4	鉄
	DEP' T STORE TABLE & CHAIR 椅子	1987	125×54×4	鉄
	DEP' T STORE TABLE & CHAIR 椅子	1987	100.5×45×46.5	鉄
83	白い塊の操縦機	1990	100×60×50	ダンボール他
84	白い塊のキャタピラー	1990	30×40×180	ダンボール他
	白い塊のキャタピラー	1990	55×40×180	ダンボール他
85	白い塊のすくいショベル	1990	169×86×168	ダンボール他
86	白い塊のアーム1	1990	55×38×342	ダンボール他
87	昇台屋の犬	1990	46×24×24	ダンボール他
88	水綴苑の犬	1990	58×35.5×28.5	ダンボール他
(映)89	Xデパートメント	1991	「Xデパートメント」展より	
90	身体面	1992	13.5×10×9	アクリル絵具他
91	自己受容	1992	30×22.1×21.4	アクリル絵具他
92	両性感情	1992	13.4×19×4.4	アクリル絵具他
93	身体像	1992	8.5×7.3×8	アクリル絵具他
94	無言症1	1992	4.7×27.9×5.2	プラスチック他
95	無言症2	1992	12.7×10.5×4.4	金属他
96	感情移入	1992	12.3×8.9×8.9	コップ他
97	葛藤	1992	4×32×32	アクリル絵具他
98	相互作用	1992	2.5×11×52	厚紙他
99	恐怖症	1992	24.2×19.2×1.5	ボール紙他
※100	臨床家	1992	4.7×37×22.8	アクリル絵具他

作品No	作品名	制作年	サイズ (cm縦×横)	素材
101	自己認識	1992	36×16.5×51.5	アクリル絵具他
102	精神面	1992	24.7×8.9×1.5	アクリル絵具他
103	支持	1992	2×55×36	厚紙他
104	判断	1992	18×12×27	ボール紙
105	心理的機制	1992	4×29×24	アクリル絵具他
106	投影	1992	2.5×24.5×24	アクリル絵具他
107	合理化	1992	4×31×25	アクリル絵具他
108	心理的統合	1992	25×35×1.9	アクリル絵具他
109	否定	1992	11.5×5×16.4	厚紙他
110	洞察	1992	30×17×13	アクリル絵具他
111	接近	1992	20×11.7×7	アクリル絵具他
112	防衛機制	1992	26.2×10.5×3.5	アクリル絵具他
113	自立	1992	75.4×105.4×2.9	アクリル絵具他
114	自尊心	1992	7.8×7.4×21.3	アクリル絵具他
115	回転障害	1992	17×7×13	アクリル絵具他
116	受容	1992	55.2×37.9×0.6	ダンボール他
117	パリ～北京ラリー ランドクルーザー トヨタランドクルーザー60 (HJ-61)、	1992	194.5×475×188	
118	ゼンダ城の虜 緞帳	1992	195×556	水性ペンキ 泥絵具、布
119	ゼンダ城の虜 緞帳	1992	196×550	泥絵具、布
120	ゼンダ城の虜 緞帳	1992	195×580	泥絵具、布
121	ゼンダ城の虜 緞帳	1992	180×633	泥絵具、布
※122	Escalier 1	1994	161×146	ダンボール他
※123	Escalier 2	1994	155×127	ダンボール他
※124	Etude pour Escalier 3	1994	104×76	藁半紙他
125	エル	1994	248.5×336.5	ダンボール、アクリル絵具
126	ルーレロト	1994	218.5×275	ダンボール、アクリル絵具
127	サリ	1994	236×319	ダンボール他
128	マトト	1994	237×324	ダンボール他
129	パペハ	1994	327.5×320	ダンボール他
(映)130	「HODO」パフォーマンス	1994	作・脚本・演出 / 日比野克彦 会場 / 名古屋バルコアストロドーム	
131	UNTITLED	1995	44×45	ダンボール、色鉛筆、墨
132	UNTITLED	1995	43.5×23.5	ダンボール、色鉛筆
133	UNTITLED	1995	43×16	ダンボール、色鉛筆、墨
134	UNTITLED	1995	43×28	ダンボール、色鉛筆、墨
135	UNTITLED	1995	44×61.5	ダンボール、色鉛筆、墨
136	AURO	1995	393×445	ダンボール、靑糸、色鉛筆
137	NITO	1995	393×445	ダンボール他
138	KIRO	1995	393×445	ダンボール他
139	SUSA	1995	393×512	ダンボール他
140	BEMOUTH	1995	393×400	ダンボール他
141	TUTU	1995	393×445	ダンボール他
142	SHITE	1995	393×445	ダンボール他
(映)143	と徒然	1995	作・演出 / 日比野克彦、 会場 / 個展「と徒然」(ランドマークホール・横浜)	
144	貴婦人たちのお喋りがやんだのは、モハメット・アリが聖火に火をつけようとしたときであった。	1996	117.8×262.5×2.5	ダンボール他
145	パイナップル、バナナ、イチゴ、白桃、柿、マーガリン、コーヒー、お米と黒胡椒。	1996	224.5×129	ダンボール他
146	車の助手席に漂っている人は、いつかどこかで私が会ったことのある人です。	1996	219.2×248.8	ダンボール他
147	あの日のことはよく憶えている。家の戸をあけたら、別に大した出来事のない一日だった。	1996	344.8×170.3	ダンボール他
148	A.B.C.D.E.F.G.H.I.H.G.F.E.D.C.B.A	1996	181×118.2×9.5	ダンボール他

作品No	作品名	制作年	サイズ (cm縦×横)	素材
149	カルラ身	1996	212×167.5	アクリル絵具他
150	ブニョ身	1996	212×167.5	アクリル絵具他
151	ウバソク身	1996	212×167.5	アクリル絵具他
152	バラモン身	1996	212×167.5	アクリル絵具他
153	ピクニ身	1996	212×167.5	アクリル絵具他
154	LIMOGES	1996	陶*全100点中の49点	
155	HUGGING 1	1996	150×100	藁半紙他
156	HUGGING 2	1996	150×100	ジェッソ他
※157	LADY IN THE DARK 幕絵原画	1996	32.8×13.5	アクリル絵具他
※158	LADY IN THE DARK 幕絵原画	1996	32.8×13.5	アクリル絵具他
※159	LADY IN THE DARK 幕絵原画	1996	32.8×13.5	アクリル絵具他
※160	LADY IN THE DARK 幕絵原画	1996	32.8×13.5	アクリル絵具他
161	LADY IN THE DARK 幕絵	1996	620×270	泥絵具、布
162	LADY IN THE DARK 幕絵	1996	620×270	泥絵具、布
163	LADY IN THE DARK 幕絵	1996	620×270	泥絵具、布
164	LADY IN THE DARK 幕絵	1996	620×270	泥絵具、布
165	LADY IN THE DARK 幕絵	1996	620×270	泥絵具、布
166	LADY IN THE DARK 幕絵	1996	620×270	泥絵具、布
167	LADY IN THE DARK 幕絵	1996	620×180	泥絵具、布
168	LADY IN THE DARK 幕絵	1996	620×180	泥絵具、布
※169	NHK W杯 幕絵1原画	1998	32×17	アクリル絵具他
※170	NHK W杯 幕絵3原画	1998	32×17	アクリル絵具他
※171	NHK W杯 幕絵5原画	1998	32×17	アクリル絵具他
※172	NHK W杯 幕絵6原画	1998	32×17	アクリル絵具他
※173	NHK W杯 幕絵7原画	1998	32×17	アクリル絵具他
※174	NHK W杯 幕絵9原画	1998	32×17	アクリル絵具他
175	NHK W杯 幕絵1	1998	320×182	泥絵具、布
176	NHK W杯 幕絵2	1998	320×182	泥絵具、布
177	NHK W杯 幕絵3	1998	320×182	泥絵具、布
178	NHK W杯 幕絵4	1998	320×182	泥絵具、布
179	NHK W杯 幕絵5	1998	320×182	泥絵具、布
180	NHK W杯 幕絵6	1998	320×182	泥絵具、布
181	NHK W杯 幕絵7	1998	320×182	泥絵具、布
182	NHK W杯 幕絵8	1998	320×182	泥絵具、布
183	明日のこと。	1998	45.4×36.3	アクリル絵具、麻紙
184	待つ花。	1998	27×38.8	アクリル絵具、麻紙
185	エルサレム・ストーン。	1998	52.9×60.8	アクリル絵具、麻紙
186	350kmの先に。	1998	23.2×80.2	アクリル絵具、麻紙
187	山から5日。	1998	32.7×30.5	アクリル絵具、麻紙
188	正しい人が好きだった。	1998	189×129	アクリル絵具、麻紙
189	部屋番号はいくつですか、とインターホンで聞いて下さい。	1998	187×127	アクリル絵具、麻紙
190	応答せよ。	1998	186×126	アクリル絵具、麻紙
191	指の先の距離感の話。	1998	154×214	アクリル絵具、麻紙
192	キイロイサクラノミノナカニミズイロモドキノコエガスル。	1998	153×212	アクリル絵具、麻紙
193	ONにしろ！OFFにしろ！！	1998	156.5×154	アクリル絵具、麻紙
194	石の数。	1998	154×214	アクリル絵具、麻紙
195	午後2時33分、コインパーキングにて聞いたことのある声でした。	1998	128×189	アクリル絵具、麻紙
196	初の春の画NO.1	1998	31.3×43.4	アクリル絵具他
197	初の春の画NO.5	1998	31.3×43.4	アクリル絵具他
198	初の春の画NO.6	1998	31.3×43.4	アクリル絵具他
199	初の春の画NO.24	1998	31.3×43.4	アクリル絵具他
200	PINK AND WHITE	1999	72.8×1	出力紙
201	PINK AND WHITE	1999	2.8×103	出力紙
202	誘拐したい4	1999	240×160	アクリル絵具、麻紙
203	誘拐したい6	1999	240×160	アクリル絵具、麻紙

作品No	作品名	制作年	サイズ (cm縦×横)	素材
204	誘拐したい7	1999	240×160	アクリル絵具、麻紙
205	誘拐したい8	1999	240×160	アクリル絵具、麻紙
206	誘拐したい9	1999	240×160	アクリル絵具、麻紙
207	確認できません。	1999	192×131	アクリル絵具、麻紙
208	それが本体に及ぼす影響は。	1999	192×131	アクリル絵具、麻紙
209	計算上では進行に支障のない。	1999	192×131	アクリル絵具、麻紙
210	実際のロケット打ち上げは。	1999	100×123	アクリル絵具、麻紙
211	3秒後の月齢56。	1999	100×123	アクリル絵具、麻紙
212	対処。	1999	74.6×89.2	アクリル絵具、麻紙
213	方法を。	1999	58.8×48.4	アクリル絵具、麻紙
214	侵入。	1999	78.6×60	アクリル絵具、麻紙
215	鼻をかみたい。	1999	214×156	アクリル絵具、麻紙
216	BODY	1999	30×24×16	ガラス
217	STEERING	1999	33×27×11	ガラス
218	RING CROSS	1999	15×40×15	
			17×41×16.5	ガラス
219	OIL	1999	24.5×38.5×28.5	ガラス
220	TAIL	1999	21×26×26	ガラス
221	METER	1999	46×29×16	ガラス
222	FOUR RING	1999	45×20×20	ガラス
223	ROAD	1999	31×47×8	ガラス
224	GEAR	1999	44×28×16	ガラス
※225	KOBE 2001幕絵原画 彩	2000	120×120×28	写真パネル他
※226	KOBE 2001幕絵原画 花	2000	120×120×20.5	写真パネル他
※227	KOBE 2001幕絵原画 光	2000	120×120×19.5	写真パネル他
(映)228	～らしい姿	2000		作・脚本・監督/日比野克彦
229	LA PAZ ` SUCRE	2001	116×122	アクリル絵具、布
230	POTOSI ` UYUNI	2001	141.5×152	アクリル絵具、布
231	VILLA ALOTA ` LAGUNA COLORADA	2001	116×128	アクリル絵具、布
232	QUENTENA CHICO ` LA PAZ	2001	116×110.5	アクリル絵具、布
233	連続ネットドラマ「北品川四谷線」 2001			作・演出・脚本/日比野克彦
234	北品川四谷線～ボリビア行き	2001		出演/日比野克彦
235	連続ネットカラーニュース「南青山渋谷線」	2001		
236	連続ネットプロモーション「国道246号線」	2001		
237	GAROポスター	1983	103×145.6	印刷、紙
238	博多大丸ポスター	1985	103×72.8	印刷、紙
239	HIBINO EARTH PAPER' 原画 (1面、8面)	1989	54.8×80.5	墨、カラーペン、紙
	HIBINO EARTH PAPER ' 89 原画 (2面 広告面)	1989	62.5×45	墨、紙
	HIBINO EARTH PAPER ' 89 原画 (3面 MESSAGE FOR FOREST)	1989	62.5×43.4	墨、紙
	HIBINO EARTH PAPER ' 89 原画 (4面、5面 読者からのメッセージ)	1989	62.5×43.4	墨、カラーペン、紙
	HIBINO EARTH PAPER ' 89 原画 (6面 広告面)	1989	62.5×45	墨、紙
	HIBINO EARTH PAPER ' 89 原画 (7面 MESSAGES FOR RIVER)	1989	62.5×45	墨、紙
240	HIBINO EARTH PAPE' 89 (1989. 10. 2)	1989	新聞	
241	AMNESTYポスター	1991	103×72.8	印刷、紙
242	JIDF福岡ポスター (1)	1994	103×72.8	印刷、紙
243	JIDF福岡ポスター (2)	1994	103×72.8	印刷、紙
244	ABSOLUT HIBINO	1994	103×72.8	印刷、紙
245	HIBINO EARTH PAPER ' 94 (1994. 10. 3)	1994	新聞	
246	Mr.Bポスター	1996	103×72.8	印刷、紙
247	ミキハウス女子柔道ポスター	1997	72.6×51.5	印刷、紙
248	『8万文字の絵』直筆原稿	1997	原稿用紙36枚、他 (全121枚)	
249	第10回アジア太平洋子ども会議イン福岡 ' 98ポスター	1998	103×72.8	印刷、紙
250	KOBE 2001ポスター	2000	75×73	印刷、紙
251	AIR FRANCEポスター	2000	80×60	印刷、紙
252	週刊読売 表紙原画 (1989. 2. 5)	1989	31.5×24.3	鉛筆、色鉛筆、紙

作品No	作品名	制作年	サイズ (cm縦×横)	素材
253	週刊読売 表紙原画 (1989. 7. 2)	1989	38.7×26.7	アクリル絵具他
254	週刊読売 表紙原画 (1989. 12. 17)	1989	29.3×20.3	アクリル絵具他
255	週刊読売 表紙原画 (1990. 9. 9)	1990	38×27	アクリル絵具他
256	週刊読売 表紙原画 (1991. 4. 14)	1991	27.6×20.2	色紙他
257	週刊読売 表紙原画 (1992. 4. 19)	1992	28.3×20.6	ボール紙他
258	週刊読売 表紙原画 (1992. 5. 31)	1992	38.7×26.8	墨他
259	週刊読売 表紙原画 (1992. 6. 7)	1992	38.9×26.8	墨他
260	週刊読売 表紙原画 (1992. 6. 14)	1992	38.7×26.8	墨他
261	週刊読売 表紙原画 (1992. 8. 9)	1992	40×27.3	紙他
262	週刊読売 表紙原画 (1992. 9. 6)	1992	26.3×18.8	アクリル絵具他
263	週刊読売 表紙原画 (1992. 11. 1)	1992	27.5×20.5	色鉛筆他
264	週刊読売		雑誌	
265	ビスクギャラリー缶	1985		
266	デニーズメニュー 原画	1988	24.2×38.2	ダンボール他
267	デニーズメニュー 原画	1988	30×43	ダンボール他
268	デニーズメニュー 原画	1989	30×41	ダンボール他
269	デニーズメニュー	1988~89		印刷、紙
270	EPSON「WORD BANK」パッケージ原画	1989	48×67	ダンボール他
271	EPSON「WORD BANK」パッケージ原画	1989	82×65	ダンボール他
272	EPSON「WORD BANK」パッケージ	1989		
273	コニカ「H'ART GALLERY」	1989	VHSビデオテープパッケージデザイン	
274	松崎カバン「Ladder」	1989		
275	PARCO腕時計	1989~ 96		
276	鹿野漆器掛時計	1994~		
277	九谷焼	1996		
278	長野五輪カウントダウンTシャツ	1997		
※279	NTT IC公衆電話	1998		
280	NTT ICカード	1998		

※ 印は目黒区美術館会場では未陳

(映)は「日比野克彦の映像作品とトークショー」で上映した映像作品

〈特別展示〉

1. 「HI GA SHIZUMU MAENI KAEROU」2001年 300×1200cm
2. 2001年ワールドカップポスター

目黒区の美術・書-2002

会期：2002年11月23日(土)～2003年1月11日(土) (36日間)

会場：目黒区美術館エントランスホール、ワークショップ、展示室A B C、展示ロビー

主催：目黒区美術館

担当学芸員：正木 基

目黒区美術館は、1987年の開館以来1998年度まで、目黒区内在住・在勤の作家の方々がその年度に発表した作品を原則に、アニュアル形式で1人1点ずつ作家自選作品を紹介し続けてきた。

2001年に、同展の在り方について、目黒区美術家協会、目黒区書作家協会、目黒区美芸作家協会等と目黒区美術館(故・福永重樹館長)とが協議、同年から2003年までの3年間は、上記三団体作家と日本書道学校在勤作家の仕事を、3回に分けて紹介することを約した。

2年目にあたる本年は、目黒区美術家協会15作家、目黒区書作家協会12作家、目黒区美芸作家協会6作家、日本書道専門学校3作家、総計36作家に出品を依頼。絵画の場合30号～100号を3点(号数の和が300号まで)、版画など紙作品の場合は150cm×150cm以下の作品3点、書の場合は半切以上或いは3尺×8尺以下の作品3点、工芸の場合は150cm×150cm以下の作品3点以内とし、20～50cm×20～50cm前後の小品の場合は5点ほどの出品を原則に、ここ数年の近作・新作を中心に115点が出品された。

目黒区縁の美術・書・工芸作家の近年の多様多彩な仕事の一端を紹介し、一般区民に区内美術の現況についてご理解いただくことはもとより、作品発表で作家間の相互触発をはかり、美術愛好家、作家の方々との交流を深める契機ともなった。

●ポスター

サイズ：B3

●チラシ

サイズ：A4裏表

●出品目録

サイズ：A4、ページ数：20ページ

●案内葉書

サイズ：11cm×19cm



会場風景



ポスター

出品作品目録

制作者	No.作品名	制作年	素材・技法	寸法	
青山光治					
	1、枯葉舞う舗道	1996(平成7)年	油彩・キャンバス	90.9cm×72.7cm	三人展(1995年3月、銀座・井上画廊)
	2、紅いマニキュア	2000(平成12)年	油彩・キャンバス	90.9cm×72.7cm	都展(2000年12月、東京都美術館)
	3、不穏な館	2001(平成13)年	油彩・キャンバス	145.5cm×112.1cm	都展(2001年12月、東京都美術館)
一柳幸					
	1、アンコール・ワット	1996(平成8)年	油彩・キャンバス	131.0cm×194.0cm	第20回新日美展(1996年12月、東京都美術館)
	2、アンコール・トム 南大門	1997(平成9)年	油彩・キャンバス	131.0cm×194.0cm	第21回新日美展(1997年12月、東京都美術館)
井上早枝子					
	1、モデルのいる風景	2000(平成12)年	油彩・キャンバス	130.0cm×130.0cm	個展(2000年10月、もみの木画廊)
	2、刻(とき)	2001(平成13)年	油彩・キャンバス	130.0cm×162.0cm	第47回新世紀展(2002年5月、東京都美術館)
	3、風	2002(平成14)年	油彩・キャンバス	162.0cm×130.0cm	目黒区美術家協会展(2002年8月、目黒区美術館区民ギャラリー)
大塚莊治					
	1、陽輝に映える秋	2001(平成13)年	油彩・キャンバス	117.0cm×91.0cm	第97回太平洋展(2001年5月、東京都美術館)
	2、大倉山の野梅	2002(平成14)年	油彩・キャンバス	91.0cm×117.0cm	第98回太平洋展(2002年5月、東京都美術館)
香取栄次郎					
	1、目黒道遥	1999(平成11)年	油彩・キャンバス	116.8cm×91.0cm	新構造展(1999年6月、東京都美術館)
	2、渋谷彷徨	2000(平成12)年	油彩・キャンバス	116.8cm×91.0cm	新構造展(2000年6月、東京都美術館)
	3、渋谷散策	2001(平成13)年	油彩・キャンバス	116.8cm×91.0cm	新構造展(2001年6月、東京都美術館)
小園ケイ子					
	1、いのちの樹～5	1993(平成5)年	油彩・キャンバス	162.1cm×130.3cm	個展(1994年、ギャラリーミハラヤ、銀座)
	2、いのちの樹～潜象～15	1995(平成7)年	油彩・キャンバス	162.1cm×130.3cm	萌画会展(1995年、大森ベルポート)
	3、いのちの樹～神秘～29	1999(平成11)年	油彩・キャンバス	162.1cm×130.3cm	萌画会展(1999年、目黒区美術館区民ギャラリー)
菅野利彦					
	1、ネオ・フェミニスト1	2001(平成13)年	油彩・キャンバス	131.0cm×89.0cm	目黒区美術家協会展(2002年7月、目黒区美術館区民ギャラリー)
	2、ネオ・フェミニスト2	2002(平成14)年	油彩・キャンバス	117.0cm×91.5cm	
	3、ネオ・フェミニスト3	2002(平成14)年	油彩・キャンバス	131.0cm×90.0cm	
高山彩花					
	1、船	2001(平成13)年	油彩・キャンバス	90.9cm×72.7cm	
	2、秋の日	2002(平成14)年	油彩・キャンバス	116.7cm×90.9cm	
	3、入江	2002(平成14)年	油彩・キャンバス	116.7cm×90.9cm	
田村由利子					
	1、ブラハにて	1999(平成11)年	油彩・キャンバス	164.0cm×132.0cm	一創会展(1999年1月、東京都美術館) 会員努力賞
	2、ユダヤ人街にて	2000(平成12)年	油彩・キャンバス	151.0cm×105.0cm	一創会展会員努力賞(2000年1月、東京都美術館)
	3、ブラハにて	2001(平成13)年	油彩・キャンバス	203.0cm×127.0cm	一創会展(2001年1月、東京都美術館)
土肥朗					
	1、蒼空	1996(平成8)年	油彩・キャンバス	162.1cm×130.3cm	日展(1996年11月、東京都美術館)
	2、蝕	2002(平成14)年	油彩・キャンバス	192.1cm×130.3cm	示現会展(2002年4月、東京都美術館)
元藤郁子					
	1、六月-No.7	1998(平成10)年	油彩・キャンバス	147.0cm×147.0cm	自由美術協会展(1998年10月、東京都美術館)
	2、SPREAD-No.1	2001(平成13)年	シルクスクリーン・紙(版画)	118.0cm×92.0cm	自由美術協会展(2001年10月、東京都美術館)
	3、SPREAD-No.6	2002(平成14)年	シルクスクリーン紙(版画)	92.0cm×118.0cm	
岩本美代子					
	1、景	2001(平成13)年	アクリル・岩彩・キャンバス	162.0cm×100.0cm	目黒区美術家協会展(2001年6月、目黒区美術館区民ギャラリー)
	2、景	2002(平成14)年	アクリル・岩彩・キャンバス	162.0cm×162.0cm	日本画院展(2002年5月、東京都美術館)

制作者	No.作品名	制作年	素材・技法	寸法	
3、景		2002(平成14)年	アクリル・岩彩・キャンバス	145.5cm×89.4cm	目黒区美術家協会展(2002年8月、目黒区美術館区民ギャラリー)
澤井白陽					
1、暗雲に太陽輝く		2000(平成12)年	紙本着彩	130.0cm×194.0cm	日本南画院展(2000年3月、東京都美術館)
2、雨後の山村		2002(平成14)年	紙本墨画	130.0cm×194.0cm	日本文人画府展(2002年10月、東京都美術館)
秋本不二春					
1、東大農場 田無		1997(平成9)年	水彩・紙	35.0cm×50.0cm	個展(1997年12月、銀座ロイヤルサロン)
2、シオン城		2000(平成12)年	水彩・紙	50.0cm×70.0cm	個展(2000年、銀座ロイヤルサロン)
3、カブリ島		2001(平成13)年	水彩・紙	50.0cm×70.0cm	目黒区美術家協会展(2001年、目黒区美術館区民ギャラリー)
4、緋い海 サントリニー島・ギリシャ		2002(平成14)年	水彩・紙	50.0cm×70.0cm	目黒区美術家協会展(2002年、目黒区美術館区民ギャラリー)
宮本和也					
1、海底旅行		1999(平成11)年	紙・インキ・ペン	70.0cm×100.0cm	宮本和也作品展(2001年10月、ガレリア・セルテ)
2、平和な家族		2000(平成12)年	紙・インキ・ペン	70.0cm×100.0cm	宮本和也作品展(2001年10月、ガレリア・セルテ)
3、宙に飛ぶ人		2001(平成13)年	紙・インキ・ペン	70.0cm×100.0cm	宮本和也作品展(2001年10月、ガレリア・セルテ)
宇田溪香					
1、夕焼雲		1997(平成9)年	紙・額装	174.0cm×60.0cm	読売書法展(1997年8月、サンシャイン文化会館)
2、奈良の都		1998(平成10)年	紙・額装	60.0cm×170.0cm	読売書法展(1998年8月、東京都美術館)
3、秋の詩		1999(平成11)年	紙・軸装	136.0cm×34.0cm	書の風景展(1999年8月、銀座書廊)
河村和子					
1、須磨の海人(あま)		2001(平成13)年	料紙・額装	240.0cm×60.0cm	第53回毎日書道展(2001年7月、東京都美術館)
2、小夜千鳥		2002(平成14)年	料紙・額	138.0cm×40.0cm	第20回東雲会書展(2002年1月、鳩居堂画廊、銀座)
3、冬木成		2002(平成14)年	染紙・屏風	60.0cm×166.0cm	第20回東雲会書展(2002年1月、鳩居堂画廊、銀座)
佐々晶笛					
1、高啓詩		2001(平成13)年	紙・額	50.0cm×67.0cm	書壇院毎日小品展(2001年11月、毎日アートサロン)
2、呉錫麒詩		2001(平成13)年	紙・額	300.0cm×69.0cm	書壇院展(2001年12月、東京都美術館)
3、妙法蓮華経観世音菩薩普門品偈一節		2002(平成14)年	紙・額	240.0cm×60.0cm	書作展(2002年8月、横浜市民ギャラリー)
杉原美智					
1、秋萩		2002(平成14)年	和紙・額	40.0cm×140.0cm	一水会展(2002年5月、O美術館)
2、葦によす		2002(平成14)年	和紙・帖	32.0cm×260.0cm	第19回読売書法展(2002年8月、サンシャインシティ文化会館)、秀逸賞
3、挽歌二首		2002(平成14)年	和紙・額	60.0cm×170.0cm	
田淵祥玉					
1、遊洞庭湖 李白		1998(平成10)年	紙・額	238.0cm×56.0cm	木鐸書展(1998年7月、有楽町マリオン朝日ギャラリー)
2、題張氏隱居 杜甫		2002(平成14)年	紙・額	70.0cm×205.0cm	木鐸書展(2002年7月、有楽町マリオン朝日ギャラリー)
3、獨坐敬亭山 李白		2002(平成14)年	紙・額	100.0cm×70.0cm	
服部虚舟					
1、如龍得水		2002(平成14)年	紙・額	45.0cm×35.0cm	読売書法展(2002年8月、東京都美術館)
2、一字不識		2002(平成14)年	紙・額	30.0cm×50.0cm	
3、桂殿秋		2002(平成14)年	紙・額	170.0cm×53.0cm	
4、惺々不味		2002(平成14)年	紙・額	30.0cm×20.0cm	
室岡節子					
1、面影		2001(平成13)年	紙・額	176.0cm×60.0cm	第15回玄潮会選抜書展(2001年9月、東京セントラル美術館)
2、月のしづく		2001(平成13)年	紙・額	68.0cm×70.0cm	第7回風香会展(2001年4月、銀座・タカゲン画廊)
3、「大空」より		2002(平成14)年	紙・額	176.0cm×60.0cm	第16回玄潮会選抜書展(2002年9月、東京セントラル美術館)
持田春翠					
1、做書・寸松庵色紙		2000(平成12)年	紙・額	13.0cm×13.0cm×2点(2点一組)	目黒区民作品展(2002年9月、目黒区美術館)

制作者	No.作品名	制作年	素材・技法	寸法	
	2、福寿草(元日草) 近代詩文書	2001(平成13)年	紙・額	69.0cm×171.0cm	日書展(2002年1月、東京都美術館)
	3、桜鯛 近代詩文書	2002(平成14)年	紙・額	172.0cm×69.0cm	秀華展(2002年4月、東急百貨店(渋谷))
矢口扇朱					
	1-イ、光	1998(平成10)年	紙・額	33.0cm×30.0cm	
	1-ロ、燈檠	1995(平成7)年	紙・額	32.0cm×90.0cm	
	2、修養	2002(平成14)年	紙・額	90.0cm×120.0cm	毎日書道展(2002年7月、東京都美術館)
	3、題畫	2002(平成14)年	紙・額	180.0cm×53.0cm	創玄展(2002年3月、大田区産業プラザPIO)
山崎方石					
	1、二十四節氣印集。立春ヨリ大寒ニ至ル。二十四個押印。	1996(平成8)年	石印材・紙・額	70.0cm×50.0cm	山崎社中展(1996年11月、田園調布・寿泉堂)
	2、與古為徒。執中含和。灑心去欲。	2000(平成12)年	石印材・紙・軸	173.0cm×43.0cm	篆刻連盟展(2000年10月、上海)
	3、隨方就圓。濯魄冰壺。歲月相催逼。	2000(平成12)年	石印材・紙・軸	173.0cm×43.0cm	篆刻連盟展(2000年10月、上海)
	4、道以拙成	2001(平成13)年	紙・軸	94.0cm×46.0cm	
山田春華					
	1、西狭頰(楊見山)	1999(平成11)年	隸書・紙・軸	115.0cm×57.0cm	第34回北城書社展(1999年10月、上野の森美術館)
	2、余情残心(井伊宗観)	2000(平成12)年	篆書・紙・額	30.0cm×80.0cm	第35回北城書社展(2000年6月、上野の森美術館)
	3、放下著(逍州録)	2002(平成14)年	篆書・紙・軸	117.0cm×76.6cm	第37回北城書社展(2002年6月、上野の森美術館)
脇本軒光					
	1、古代幻想A	2002(平成14)年	画仙紙・軸	265.0cm×65.0cm×2(対幅)	
	2、古代幻想B	2002(平成14)年	画仙紙・額	85.0cm×75.0cm	
上松一条					
	1、山雪	2001(平成13)年	紙・額	180.0cm×120.0cm	
	2、不羈	2002(平成14)年	紙・額	66.0cm×132.0cm	
小野桂甫					
	1、モネの花	2001(平成13)年	画笺紙・額	240.0cm×60.0cm	独立書道展(2001年1月、東京都美術館)
	2、残菊	2001(平成13)年	画笺紙・額	182.0cm×42.0cm	現代女流書100人展(2001年2月、渋谷・東急百貨店本店)
	3、牡丹桜	2001(平成13)年	画笺紙・軸	137.0cm×35.0cm	日本の女流書展(2001年7月、銀座画廊美術館)
藤田金治					
	1、打	1977(昭和42)年	紙・額	60.0cm×80.0cm	今日の書展(1977年、アントワープ王立美術大学)
	2、酋	2000(平成12)年	紙・額	110.0cm×80.0cm	独立・会員展(2000年、銀座セントラル美術館)
	3、鉦	2001(平成13)年	紙・額	110.0cm×80.0cm	独立・会員展(2001年、銀座セントラル美術館)
	4、留	2002(平成14)年	紙・額	110.0cm×80.0cm	中部日本書道展(2002年、名古屋市美術館)
安東武治					
	1、ホトトギス	1997(平成9)年	チュペロ(立体)	25.0cm×40.0cm×30.0cm	日本バードカービング展(我孫子市民会館)
	2、庭にくる小鳥たち(メジロ、シジュウカラ、ウグイス、カワラヒバ、スズメ)	1998(平成10)年	ジェルトン(立体)	60.0cm×45.0cm×30.0cm	東京バードカービング展(1998年4月、新宿御苑インフォメーションセンター)
	3、シジュウカラの親子	1999(平成11)年	ジェルトン(立体)	40.0cm×50.0cm×20.0cm	東京バードカービング展(1999年4月、新宿御苑インフォメーションセンター)
	4、ハマシギ	2000(平成12)年	ジェルトン(立体)	16.0cm×35.0cm×22.0cm	東京バードカービング展(2000年4月、新宿御苑インフォメーションセンター)
	5、ハクトウワシ	2001(平成13)年	チュペロ(置物)	54.0cm×20.0cm×20.0cm	目黒区美芸作家協会展(2001年3月、大田区民センター)
大野里子					
	1、桃と鳥	1978(昭和53)年	絹・額	27.0cm×24.0cm	手工芸美術展(1999年6月、東京都美術館)
	2、華	1982(昭和57)年	帯(絹)	350.0cm×30.0cm	手工芸美術展(1992年6月、東京都美術館)
	3、チューリップ	1993(平成5)年	絹・額	33.0cm×24.0cm	手工芸美術展(2001年6月、東京都美術館)

制作者	No.作品名	制作年	素材・技法	寸法	
4、唐獅子		1994(平成6)年	絹・額	29.0cm×41.5cm	手工芸美術展(1996年6月、東京都美術館)
5、キレンジャク		1997(平成9)年	絹・額	23.0cm×13.0cm	日本刺繍公募作品展(1999年10月、銀座松屋)
6、結晶		2000(平成12)年	絹・額	34.0cm×24.0cm	手工芸美術展(2002年6月、東京都美術館)
末木珠枝					
1、花の化石		1996(平成8)年	押し花・額	60.0cm×42.0cm	ユネスコ美術教育連盟UAL美術展(1996年8月、東京都美術館)
2、遊びごころで木の葉で花を~その1		1998(平成10)年	押し花・額	60.0cm×42.0cm	ユネスコ美術教育連盟UAL美術展(1998年8月、東京都美術館)
3、遊びごころで木の葉で花を~その2		1998(平成10)年	押し花・額	42.0cm×60.0cm	ユネスコ美術教育連盟UAL美術展(1998年8月、東京都美術館)
田邊和夫					
1、信楽窯変壺		制作年不明	信楽荒目粘土	23.0cm×径20.5cm	秋葉窯展(1988年、LISA、銀座)
2、青釉環模様貫入花生		制作年不明	天草磁土	23.5cm×径11.2cm	勤労者美術展(1993年、目黒区美術館区民ギャラリー)
3、青釉網目模様貫入花生		制作年不明	天草磁土	23.5cm×径13.5cm	目黒区民作品展(1997年、目黒区美術館)
4、染付牡丹唐草模様壺			天草磁土	22.0cm×径17.2cm	勤労者美術展(1997年、目黒区美術館区民ギャラリー)
5、和歌釘刻壺		制作年不明	信楽水簸粘土	25.0cm×径16.5cm	個人展(1998年、横浜紅屋)
6、灰釉壺		制作年不明	信楽荒目粘土	29.5cm×径20.0cm	目黒区民作品展(2000年、目黒区美術館)
野田君子					
1、能、杜若(かきつばた)		1974(昭和49)年	布	115.0cm×106.0cm×8.0cm	作楽会人形押絵展(1974年11月、日本橋三越6階エポックサロン)
2、小督の局(こごうのつばね)		1991(平成3)年	布	60.0cm×71.0cm×5.0cm	第25回創作手工芸展(平成3年11月、渋谷東急プラザ8階展示室)さくらほりきり賞
3、源氏物語(花宴)		2000(平成12)年	布	56.0cm×63.0cm×5.0cm	第34回創作手工芸展(2000年11月、霞ヶ関ビル1階プラザホール)ゆしまの小林賞
安原喜武					
1、テーブル		2001(平成13)年	木	70.0cm×90.0cm×60.0cm	
2、テーブル		2002(平成14)年	木	75.0cm×150.0cm×70.0cm	

めぐろの子どもたち展

平成14年度目黒区立幼稚園、小・中学校連合展覧会

会期：2003(平成15)年1月18日～2月2日（14日間）

会場：展示室ABC 展示ロビー エントランスホール ワークショップ 区民ギャラリー

主催：目黒区立幼稚園長会、目黒区立小学校長会、目黒区立中学校長会、目黒区立心身障害学級設置校長会、
目黒区教育会、目黒区美術館、目黒区教育委員会

担当学芸員：家村珠代

同時開催：米国ジョージア州^{すうぶんく}チェロキー郡児童・生徒絵画展、中国北京市崇文区児童・生徒書画作品展

本展は、目黒区立の幼稚園・小学校・中学校（心身障害学級を含む）の幼児・児童・生徒が平成14年度に授業中に創作した作品を展示し、区立学校における美術教育の成果を区民の方々に紹介するとともに、この鑑賞を介して子どもたちの情操を陶冶することを目的に開催した。

また、同時期に区民ギャラリーにて、中国北京市崇文区の児童・生徒書画作品展、米国ジョージア州チェロキー郡の児童・生徒絵画展も開催した。

●リーフレット

寸法：A3（六つ折）

内容：ごあいさつ（主催者）／幼稚園／米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画展／中国北京市崇文区児童・生徒書画作品展／
心身障害学級／小学校・図工／小学校・書写／中学校・美術／中学校・書写／展示室案内

デザイン：コギト（笠原香苗）

●ポスター

サイズ：B3

デザイン：コギト（笠原香苗）

●出品数：4,111点

（内訳…米国：51点、崇文区:110点、幼稚園：125点、小学校：1,983点、中学校：1,117点、身障学級：698点、興津学園：27点）

●入館者数：8,761人



会場風景



ポスター

所蔵作品展XVI からだと出会うとき

会期：2003年2月22日(土)～4月6日(日) (38日間)

会場：展示室A・B・C、展示ロビー

主催：目黒区美術館

担当：佐川夕子

本展は、当館のコレクションの中から、人体や人物を表現した作品に着目し、それらとじっくり対峙できる場所となるよう企画した。中心に据えたのは、コレクションの大きな柱のひとつである、欧米に渡り絵画を学んできた日本人画家たちの習学期の素描やデッサンで、それらを囲むように油彩画を配し、版画や彫刻作品も展示した。

また、本展にあわせて『からだのワークショップII いまここに在る身体』を同時開催し、展示とワークショップの双方から“からだ”と出会えるよう試みた。

同時開催：「からだのワークショップII いまここに在る、身体」

●パンフレット

寸法：A5判

内容：主要出品作家図版および略暦／出品リスト／「からだと出会うとき」(佐川夕子)

デザイン：大森裕二

●ポスター

サイズ：B3横

デザイン：大森裕二

●チラシ

サイズ：A4

デザイン：大森裕二



会場風景



ポスター

出品リスト

- ・展示室ごとに、作家名五十音順で配列
- ・分類番号を記したものは当館所蔵作品

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)	備考 (分類番号または所蔵先)
<展示室 1>						
1	荒井 龍男	裸婦	1933-36年	油彩・板	22.7×15.6	あ008-003
2	石垣 栄太郎	裸婦	1920-50年頃	コンテ・紙	48.0×60.5	い013-001 (2)
3	石垣 栄太郎	裸婦	1920-50年頃	コンテ・紙	48.0×60.5	い013-001 (3)
4	石垣 栄太郎	裸婦	1920-50年頃	コンテ・紙	60.5×48.0	い013-001 (4)
5	石垣 栄太郎	裸婦	1949-50年頃	コンテ・紙	60.5×48.0	い013-001 (5)
6	石垣 栄太郎	裸婦	1949-50年頃	コンテ・紙	60.5×45.3	い013-001 (6)
7	石垣 栄太郎	裸婦	1949-50年頃	コンテ・紙	50.7×37.8	い013-001 (7)
8	石垣 栄太郎	裸婦	1949-50年頃	コンテ・紙	50.7×37.8	い013-001 (8)
9	石垣 栄太郎	裸婦	1949-50年頃	コンテ・紙	45.0×60.5	い013-001 (1)
10	石垣 栄太郎	裸婦	1949年	コンテ・紙	35.1×42.0	い013-001 (9)
11	石垣 栄太郎	裸婦	1950年	コンテ・紙	35.1×42.2	い013-001 (10)
12	石橋 和訓	裸婦習作	1905年頃	油彩・キャンバス	91.0×50.5	い018-001
13	伊藤 廉	裸体習作	1931年	グワッシュ・紙	44.5×26.5	い007-001
14	伊原 宇三郎	室内群像 (下絵)	1928年頃	木炭・紙	116.0×93.0	い010
15	太田 三郎	カナベに凭る	1928年	油彩・キャンバス	53.0×65.5	お003-001
16	岡田 謙三	5人	1949年	油彩・キャンバス	202.2×319.2	お007-008
17	川村 清雄	裸体習作	1873-81年頃	コンテ・紙	23.9×31.9	か007-002 (1)
18	川村 清雄	裸体習作	1873-81年頃	コンテ・紙	31.5×23.5	か007-002 (2)
19	国吉 康雄	人物素描 (裸婦1)	1912年	木炭・紙	62.3×47.6	く005-002 (1)
20	国吉 康雄	人物素描 (裸婦2)	1912年	木炭・紙	62.3×47.6	く005-002 (2)
21	国吉 康雄	人物素描 (裸体1)	1912年	木炭・紙	62.3×47.6	く005-002 (3)
22	国吉 康雄	人物素描 (裸体2)	1912年	木炭・紙	47.6×62.3	く005-002 (4)
23	国吉 康雄	人物素描 (考える男)	1912年	木炭・紙	62.4×47.4	く005-008 (1)
24	国吉 康雄	足をつかむ右向きの裸婦	1916-18年頃	エッチング・紙	7.6×10.2 (画)	く005-009
25	国吉 康雄	ベッドに横たわる裸婦	1916-18年頃	エッチング・紙	7.5×10.0 (画)	く005-010
26	古茂田 守介	裸婦二人	1952年	油彩・キャンバス	112.5×145.5	こ007-019
27	澤部 清五郎	裸婦	不詳	油彩・キャンバス	65.2×50.2	さ005-009
28	澤部 清五郎	裸体	1905年	木炭・紙	63.0×48.8	さ005-008 (4)
29	澤部 清五郎	裸体	1906年	木炭・紙	62.8×48.0	さ005-008 (6)
30	澤部 清五郎	裸体	1906年	木炭・紙	62.8×48.0	さ005-008 (8)
31	澤部 清五郎	裸婦	1908年	木炭・紙	63.0×48.0	さ005-008 (7)
32	澤部 清五郎	石膏像	1911年	木炭・紙	62.5×48.6	さ005-008 (13)
33	澤部 清五郎	裸婦	1911年	木炭・紙	62.5×48.2	さ005-008 (22)
34	澤部 清五郎	裸体	1911年	木炭・紙	62.5×48.5	さ005-008 (14)
35	澤部 清五郎	裸婦	1912年	木炭・紙	62.1×48.5	さ005-008 (24)
36	澤部 清五郎	裸体	1912年	木炭・紙	62.5×48.5	さ005-008 (15)
37	澤部 清五郎	裸体	1912年頃	木炭・紙	62.1×48.1	さ005-008 (18)
38	清水 登之	裸婦	1914年	木炭・紙	62.3×48.0	し003-001
39	霜鳥 正三郎	裸体	1911年	木炭・紙	62.4×47.8	し005-005 (4)
40	霜鳥 正三郎	裸婦	1912年	木炭・紙	62.2×48.2	し005-005 (3)
41	白瀧 幾之助	石膏像	1904-11年頃	木炭・紙	63.3×48.3	し006-001 (2)
42	白瀧 幾之助	裸体	1904-11年頃	木炭・紙	62.0×48.0	し006-001 (11)
43	白瀧 幾之助	裸体	1904-11年頃	木炭・紙	62.0×48.0	し006-001 (12)
44	白瀧 幾之助	裸体	1904-11年頃	木炭・紙	62.0×48.0	し006-001 (13)
45	白瀧 幾之助	裸体	1904-11年頃	木炭・紙	62.5×48.0	し006-001 (15)
46	白瀧 幾之助	裸体	1904-11年頃	木炭・紙	62.0×48.0	し006-001 (17)
47	白瀧 幾之助	裸体	1904-11年頃	木炭・紙	62.0×48.0	し006-001 (18)
48	鈴木 誠	裸婦	1920年	木炭・紙	64.0×47.0	す003-004
49	田中 保	金髪の裸婦	1920-30年	油彩・キャンバス	88.5×91.2	た006-001
50	田中 保	裸婦	1920-30年	木炭・紙	64.6×50.2	た006-002 (1)
51	田中 保	裸婦	1920-30年	木炭・紙	50.2×64.6	た006-002 (2)
52	田中 保	裸婦	1920-30年	木炭・紙	64.6×50.2	た006-002 (3)
53	鶴岡 義雄	海辺	1949年	油彩・キャンバス	193.0×131.0	つ003-001

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)	備考 (分類番号または所蔵先)
54	三輪 四郎	裸婦習作	1923-24年	油彩・キャンバス	73.5×60.2	み008-001
55	森田 元子	裸婦	1925-27年	油彩・キャンバス	72.9×60.8	も003-003
56	安井 曾太郎	男子裸体*	1905年	木炭・紙	62.7×48.0	学校法人高澤学園蔵
57	安井 曾太郎	男子裸体*	1907年	木炭・紙	62.8×48.2	学校法人高澤学園蔵
58	安井 曾太郎	裸婦 脚部*	1907年	木炭・紙	62.8×47.6	学校法人高澤学園蔵
59	安井 曾太郎	裸婦*	1907年	木炭・紙	62.8×48.1	学校法人高澤学園蔵
60	安井 曾太郎	男子裸体**	1907-10年頃	木炭・紙	63.7×48.1	学校法人高澤学園蔵
61	安井 曾太郎	裸婦**	1908年頃	木炭・紙	63.0×47.8	学校法人高澤学園蔵
62	安井 曾太郎	男子裸体**	1908年頃	木炭・紙	62.4×47.7	学校法人高澤学園蔵
63	山口 薫	椅子に凭れる裸婦	1930-33年	油彩・キャンバス	72.8×60.7	や006-003
64	横手 貞美	裸婦	1929年頃	油彩・キャンバス	55.0×46.0	よ001

*は前期 (2/22~3/16)、**は後期 (3/18~4/6) に展示

<展示室 2>

65	伊原 宇三郎	カナペの女	1926年	油彩・キャンバス	90.0×145.6	い010-003
66	木下 孝則	裸婦	1932年頃	油彩・キャンバス	111.9×145.0	き004-001
67	古茂田 守介	横たわる裸婦	1958年	油彩・キャンバス	97.5×161.5	こ007-020
68	里見 勝蔵	女	1928年	油彩・キャンバス	80.3×116.7	さ004-003
69	矢橋 六郎	裸婦	1932年	油彩・キャンバス	72.9×91.0	や006-002

<展示室 3>

70	藤田 嗣治	横たわる裸婦***	1920-29年	銅版・紙	37.0×56.0 (画)	ふ003-025
71	藤田 嗣治	立っている裸婦***	1920-29年	銅版・紙	56.0×37.0 (画)	ふ003-024
72	藤田 嗣治	裸婦と猫***	1920-29年	銅版・紙	34.5×44.5 (画)	ふ003-027
73	藤田 嗣治	裸婦***	1923-34年頃	ドライポイント・紙	26.5×36.5 (画)	ふ003-026
74	藤田 嗣治	裸婦***	1925年	リトグラフ・紙	43.0×33.0 (画)	ふ003-037
75	藤田 嗣治	裸婦***	1925年	リトグラフ・紙	24.0×17.5 (画)	ふ003-038
76	藤田 嗣治	レスリング***	1927年	水彩・紙	60.0×122.0	ふ003-015
77	藤田 嗣治	裸婦	1929年	鉛筆・紙	71.5×128.5	ふ003-049

***藤田の後援者だったアメリカ人、フランク・E・シャーマン (1917-91) の旧蔵コレクション (シャーマン・コレクション) より

<展示室 4>

78	相笠 昌義	髪を結う女 <版画集「女・時の過ぎゆくままに」より>	1979年	エッチング、アクアチント紙	18.0×21.0 (画)	あ001-001
79	相笠 昌義	晩年 <版画集「女・時の過ぎゆくままに」より>	1979年	エッチング、アクアチント紙	20.0×17.0 (画)	あ001-001
80-89	小作 青史	版画集「ギリシャ神話」(10点組)	1968年	銅版・紙	12.0~24.1×10.7~18.7 (画)	お012-005
90-103	小作 青史	版画集「バリエーションC (単一から転写による軌跡)」(14点組)	1976年	リトグラフ・紙	39.0×33.0 (画)	お012-003
104	柄澤 齊	肖像 I I アルブレヒト・デューラー(A)	1981年	木口木版・紙	15.1×10.1 (画)	か006-001
105	柄澤 齊	肖像 V ロドルフ・ブレダン	1982年	木口木版・紙	15.0×9.5 (画)	か006-001
106	柄澤 齊	肖像 IV アルチュール・ランボー	1982年	木口木版・紙	19.5×14.6 (画)	か006-001
107	柄澤 齊	肖像 IX フランツ・カフカ	1983年	木口木版・紙	18.3×13.4 (画)	か006-001
108	駒井 哲郎	夜の中の女	1951年	インタリオ・紙	12.5×15.5 (画)	こ005-002
109	駒井 哲郎	びっくりしている顔	1975年	アクアチント(亜鉛版)・紙	23.0×21.0 (画)	こ005-009
110	浜田 知明	風景	1953年	エッチング・紙	36.2×29.8 (画)	は003-004
111	浜田 知明	情報過多人間 <版画集「見える人」より>	1975年	エッチング・紙	22.3×14.5 (画)	は003-001

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)	備考 (分類番号または所蔵先)
112	浜田 知明	顔 <版画集「見える人」より>	1975年	エッチング・紙	22.1×16.8 (画)	は003-001
113	浜田 知明	顔 <版画集「見える人」より>	1975年	エッチング・紙	19.3×19.3 (画)	は003-001
114	松原 直子	インドネシアの踊り	1962年	木版・紙・パネル貼り	83.0×181.0	ま003-004
<立体>						
115	森川 昭	トルソー	不詳	ブロンズ	41.0×73.0×35.0	も001-001
116	森川 昭	首	不詳	ブロンズ	61.0×17.5×28.0	も001-002
<追加展示>						
四方田 草炎	裸婦	不詳	鉛筆、木炭・紙	260.0×90.0	学校法人高澤学園蔵	
この作品は後期 (3/18~4/6) のみ展示						

Ⅱ.教育普及事業

(1)ワークショップ活動

① 線の迷宮<ラビリンス>—細密版画の魅力

展覧会と同時開催で、出品作家によるコースと“版”に関するコースを行った。版画に関する関心の高さと、作家の魅力によりどのコースも多く申し込みがあった。道具や薬品を使うため参加人数が限られ厳選な抽選で、参加者を決定、皆熱心に講師の話と説明に耳を傾け、実際の作業を行った。講師陣は、懇切丁寧に指導してくださり、さらに展示会場でのトークもはさみ充実したワークショップが展開された。特に木口木版画は、民間での教室がないため、再度開催の要望もつよくあった。

A.公開制作とお話 文字と絵の美しい関係—『本』と木口木版画

講師：柄澤齊（からさわひとし・版画家／出品作家）

日時：7月27日（土）10時30分から4時30分

参加者：高校生以上一般47名

活字で摺られた文字、木口木版で摺られた絵、選ばれた紙に吟味された装丁。本の宝石ともいえる、活版による美しい本にこだわりをもつ柄澤氏の繊細な仕事の断面を、実際の行程を交えて語っていただいた。午前の部では、今回の展示作家、作品についての作家としての解説を含め、木口木版画の日本での需要とご自身の作品について語っていただいた。午後の部では木口木版と本の関係に言及していただき、豊富な資料をてがかりにお話を展開していただいた。さらに柄澤氏出品のアルビオンプレス機を使って、古い木口木版の版木を実際に摺る体験をさせていただいた。



B.銅版画・自分の心を映す線

講師：蒲地清爾（かまちせいじ・版画家／出品作家）

日時：8月3日、17日、24日（土曜日3回）1時から5時まで

参加者：小学4年生以上一般24名

銅版画表現の可能性に触れながら、自分の奥深い心にあるイメージを線で構成し、ハガキ大の銅板にエッチング（腐蝕技法）で表現した。講師の蒲地氏は、常に技法よりも、何を表現したいか、というイメージづくりを強調しながらの指導を行った。初心者、経験者それぞれの個性を活かすような話は参加者の心を実感につかんでいた。かなり厳しい日程であったが、参加者はかなり集中して密度のある作品を制作した。



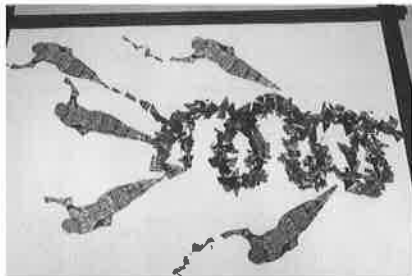
C.誰でも《体験》、楽しい木口木版画

講師：小林敬生（こばやしけいせい・版画家・多摩美術大学教授／出品作家）

日時：8月11日、18日、25日、9月1日（日曜日4回）

1時から5時まで参加者：小学4年生以上一般 24名

椿などの目のつんだ木を横に切った断面（木口）を磨き、鋭利な刃で図柄を刻印することで繊細な表現が可能な木口木版画。本コースでは、子どもから大人まで誰もが楽しめるようにプログラムを組んでいった。小学生も参加した本コースは、なかなか体験できない木口木版の醍醐味が十分に味わえるものとなった。版木には、桜の寄せ木材を使用、高度な技術のエングレーヴィングに挑戦となった。最後には、参加者の作品投票なども行われ、活気に満ちた内容のコースとなった。



D.合体版画—君はどこまで細い線がかけるか。—銅版画に挑戦！

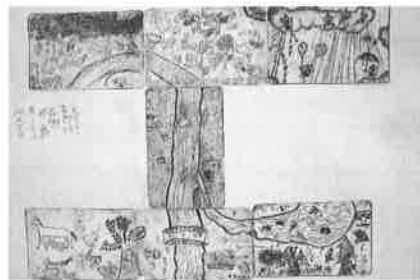
講師：榎本寿紀（えのもととしき・ワークショップ・エドゥケーター）

日時：1コース8月7日（水）、14日（水）10時30分から4時30分

2コース8月8日（木）、15日（木）10時30分から4時30分

参加者：小学1年生から中学生まで延べ参加者43名

版画の線刻の楽しさに触れる共同作業で、大きな版画作品を制作した。まず、班に分かれて作品鑑賞を行い、線の魅力を紙の上に描くなどして楽しんだ。一人あたりの版の大きさはちいさいが、それを組み合わせて図をつくり、合体させて大きな紙に摺った。版画ではめづらしい試みで、それぞれの個性があわさって一つのストーリーを構成し、ユニークな作品が生まれた。本物の銅版に描いて腐蝕して版をつくるエッチングという本格的な銅版画を体験した。



E.ファミリーワークショップ

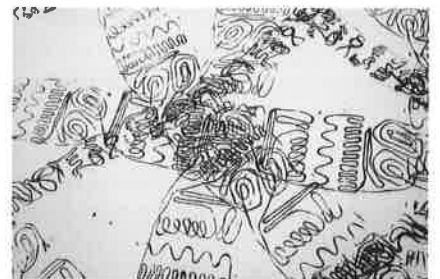
《くるくるまわし、ころころがし、つながつなく線の道》

進行：目黒区美術館T V T（トイコレクション・ボランティア・チーム）

日時：7月21日（日） 1時から4時

参加者：4歳（幼児）以上の家族 二人一組16組

当館ボランティアによる人気のコース。今回は、昨年行った糸版画をさらに発展させ、繰り返しあらわれる線のおもしろさを体験するため、丸い円筒に糸でさまざまな模様を描き紙の上をころがして、大きくて長い絵巻をつくっていった。版にはトイレットペーパーの芯を使い、模様は、風糸を自由に貼り付け構成して制作。その円筒版を大きな白い紙に転がしながら、どこまでもつながってゆく線の版のおもしろさを体験した。大きな紙にのり、円筒版をダイナミックにころがしてゆく幼児の姿は印象的であった。



F. サポートプラン《線を楽しむ》

講師：榎本寿紀（ワークショップエディタ）

日時：7月13日（土）10時30分から4時30分まで

参加者：週休2日制が導入された学校に通う小中学生30名

土曜日のプログラムとして、今回特別に企画。ギャラリートourでいろいろな角度から版画を見て、視ることの楽しさを味わうためのコース。一つの作品を選んで、その作品の中に入り込むように話を展開させていった。

遊びの広場《どこまでも続く一本の線》

日時：7月 20, 23, 25, 26, 28, 30 / 8月 1, 2, 4, 6, 9, 10, 13, 16, 20, 22, 23, 27, 29, 30, 31

21日間（自由参加） 1時から4時30分の間

一枚のカードに無限に続く線をかいて、自分だけのカードを作成した。展示を見た後に、年齢に関係なく気軽に寄っていただける内容。



②「日比野克彦展—ある時代の資料としての作品たち」

テーマ「目黒川河川（メグロガワカセン）」

—「初めて橋の上で立ち止まったのは何処ですか？」—

講師：日比野 克彦（アーティスト）

開催日：9月28日、10月6日、13日、20日、26日、11月4日、10日

参加者：各20人

③からだのワークショップⅡ 『いまここに在（あ）る、身体（からだ）』

日々変化する現代では、ゆったりした時間を持つことも難しく、情報に流されてしまうこともしばしば。そうした中で、自分の＜心・身体＞を見つめ直すことは、自分の存在を再確認することにもなり大切な行為である。感覚を研ぎ澄まし身体の内側や心に眼を向ける。普段の生活では意識することの少ない身体を動かしてみる。音楽を聴き自分の身体をイメージしながら動いてみる。自分の手と足はどのように身体についているか確認する。こうしたことを、表現する側、鑑賞する側に身を置いて自分の身体とその動きを確認し、通常とは違う時間の流れを体験した。講師には、舞踏家の大野慶人氏を招き3つのコースで構成。さらに、こどものコース、大島福子氏によるワークショップ・レクチャーも開催。どのコースも、講師と参加者の熱気に満ちた関係が生まれ、集中度が高く内容の濃いものとなった。

●身体をめぐる3つのコース

講師：大野慶人（おおのよしと）・舞踏家

大野一雄、故土方巽（ひじかたつみ）作品に数多く出演。独舞でも国内外で活躍。また、大野一雄作品の演出家としても世界各地で絶賛されている。1959年、土方巽「禁色」でデビュー。1969年、新宿厚生年金会館ではじめての独舞公演「大野慶人DANCE EXPERIENCEの会」を行う。1985年、大野一雄舞踏公園「死海」で共演する。以降、大野一雄舞踏公演「睡蓮」「花鳥風月」等を演出、共演する。1998年には独舞公演「ドリァングレイの最後の肖像」を初演。

A. 身体の<芯>をさぐる

3月9日（日）、16日（日）1：30～4：30

私たち一人ひとりが持っている身体の中心を貫く“芯”を意識するコースとして開催した。「立つ」「歩く」「絞る」など簡単で基本的な動作をきっかけに、動きと自分の関係を深めながら自分の世界を創作していった。特に「絞る」では、タオルを両手に絞る動作を続けながら徐々に自分自身の深部へとイメージを広げた。肉体の中に意識をもって一歩ずつ入り込んでいながら、日常生活におけるからだの芯を確認していった。

対象・定員：小学4年生以上 34名



B. 身体の中の宇宙をさぐる

3月21日（金・祝）、23日（日）1：30～4：30

このコースでは、今ここに置かれている自分の存在そのもの、場所、時間を確認していった。大野氏の言葉のリードで、自分をとりまく空間、そして自分を中心とした宇宙をイメージの中で意識していった。竹筒と自分を絡めたり、真綿や和紙のような柔らかい素材を身体にまといながらの表現も試みた。

対象・定員：小学4年生以上 33名



C. 身体との出会い—私を超えて

3月30日（日）、4月6日（日）1：30～4：30

「命の一番の源にさかのぼる」「自分の中の、何か忘れてきてしまった肉体がある」私という個人の存在を超え、いのち、からだ、こころをテーマに自分をみつめていった。初日には、即興演奏家の奈良義知氏がかけつけてくださり、さまざまな楽器の音色やリズムを即興で演奏、それをバックに、心地よい音環境のなかで、リラックスしながら身体を動かした。

対象・定員：小学4年生以上 27名



●オプション「いま、ここに在る、身体」・A.B.C.コースを振り返って

大野慶人氏によるワークショップ終了後、各コースの参加者や興味の有る方が集合し、各コースの記録を見ながら、大野氏を囲んで歓談した。少しずつタイプの違う3つのコースを終えて、それぞれのビデオ、写真記録を見ながら、大野氏の口から紡ぎ出された魅力的な言葉を手がかりに、このワークショップで導き出された数々の動きの意味を確認していった。参加者からの質問や感想も熱心に寄せられ、大野氏は、一つひとつ丁寧に答えて下さった。しめくりとして大変密度のある内容となった。

4月13日（日）1:30p.m.～3:30p.m.

対象：A.B.C.コース参加者、一般の方 42名

●こどものワークショップ

C.からだと遊ぼう！ー感覚全開

講師：榎本寿紀（ワークショップ・エデュケーター）

日時：4月1日（火）、2日（水）、4日（金）10：30a.m.～4：30p.m.

対象・定員：新小学1年生から中学生 25名

<ゆっくり呼吸してみる>、<耳を澄ましてふだん聞こえないものに耳を傾ける>、<目をつむっていろいろなものに触ってみる>。このコースでは、視覚、聴覚、触覚を使ったいろいろな遊びをとおして、楽しみながら自分のからだを見つめていった。まず、お互い向き合って同じ動作をする二人鏡、グループごとのジェスチャーゲーム、美術のさまざまな身体のシーンを壁に大写して、動作をまねるなど、身体のいろいろな部分を動かして表現にチャレンジした。最後には2階の所蔵作品展「からだとの出会い」展会場作品の顔の表情を、白塗りの顔で追体験する方法での鑑賞を行った。じっくりと自分の身体と向き合った3日間となった。



●ワークショップ・レクチャー

D.自分の身体の“関係”を知る一骨のしくみ、筋肉のしくみ

講師：大島福子（モダントレーニング研究所）

日時：3月2日（日）1：30p.m.～4：30p.m.

対象・定員：中学生以上 26名

一番近くて一番遠くにあるのが自分の身体。健康なときは、なかなか意識してみることはないのが現状。このコースでは、スポーツトレーナーの講師から、筋肉や骨の構造が自分の中でどのように関係しあっているかをビデオや実際の人体模型を使いながらわかりやすくお話、解説していただいた。足と呼ばれる部分、手と呼ばれる部分が身体のどこからなのかなど、普段考えたことのない身体のしくみに参加者は真剣に聞き入っていた。後半は、軽いストレッチ体操を行い、頭と身体をリラックスさせた。



(2) 学校対応事業

研修の受け入れ

1. 版画のワークショップ

目黒区立第10中学校 小島道子教諭 美術科
目黒区立大岡山小学校 長雄寛明教諭 図画工作
目黒区立緑が丘小学校 丸山教諭 図画工作

2. 身体のワークショップ

目黒区立 東山小学校 黒木公一 教諭 体育部 生活指導主任

学校教諭研修会

銅版画講座

講師：蒲地清爾（かまちせいじ・銅版画家）

日時：平成14年2月2日（土）、2月16日（土）

場所：1回目－下目黒小学校、2回目－目黒区美術館ワークショップ

参加者：小学校教諭（区内）10名、（区外）7名、

夏の細密版画展に先駆け、学校の先生方を対象に、現在活躍中の作家による本格的な銅版画講座を開催した。先生方が本格的な銅版画の描画、腐食、刷りまでを体験することで、授業で版画を取り入れていただき、その経験を土台にして、夏の版画展にギャラリーツアーでは、子供達が本物の版画に触れるというストーリーを考えた。結果、多くの学校が木版画などを取り入れているが、銅版画やドライポイントにトライした学校が3校あった。学校の教師のためのこのような研修会は、今後も計画していく予定である。

(2) ギャラリーツアー（小学校の授業と連携）

下記の三つの展覧会の開催中に学芸員等の指導により児童・生徒が各展示室に分かれてギャラリーツアーを実施した。

①「線の迷宮<ラビリンス>—細密版画の魅力」展

ア	開催日	7月9日	参加者	目黒区立月光原小学校	6年生	48人	キ	開催日	7月18日	参加者	目黒区立向原小学校	5年生	54人
											大田区立東調布第三小学校	6年生	59人
イ	開催日	7月10日	参加者	港区立東町小学校	5年生	24人	ク	開催日	7月19日	参加者	目黒区立下目黒小学校	5年生	54人
ウ	開催日	7月11日	参加者	目黒区立下目黒小学校	1年生	34人	ケ	開催日	9月3日	参加者	目黒区立原町小学校	5年生	43人
				目黒区立油面小学校	5年生	68人	コ	開催日	9月4日	参加者	目黒区立下目黒小学校	3年生	42人
エ	開催日	7月12日	参加者	目黒区立田道小学校	4年生	45人	サ	開催日	9月5日	参加者	品川区立上神明小学校	6年生	49人
				目黒区立月光原小学校	5年生	48人				目黒区立下目黒小学校	4年生	44人	
オ	開催日	7月16日	参加者	目黒区立第十中学校	3年生	9人	シ	開催日	9月6日	参加者	目黒区立田道小学校	5年生	46人
				目黒区立下目黒小学校	2年生	45人							
カ	開催日	7月17日	参加者	目黒区立中目黒小学校	5年生	69人							
				目黒区立向原小学校	4年生	39人							

②「日比野克彦展—ある時代の資料としての作品たち」

ア	開催日	10月17日	参加者	目黒区立八雲小学校	6年生	58人	カ	開催日	10月25日	参加者	目黒区立第10中学校	1年生	70人
				品川区立第4日野小学校	5/6年生	69人	キ	開催日	10月29日	参加者	目黒区立第10中学校	3年生	8人
イ	開催日	10月18日	参加者	目黒区立駒場小学校	5年生	64人				品川区立第4日野小学校	3/4年生	64人	
ウ	開催日	10月22日	参加者	目黒区立不動小学校	4年生	60人	ク	開催日	10月30日	参加者	目黒区立八雲小学校	5年生	51人
				目黒区立宮前小学校	3/4年生	75人				目黒区立第10中学校	2年生	70人	
				目黒区立上目黒小学校	5年生	49人	ケ	開催日	10月31日	参加者	目黒区立田道小学校	6年生	39人
エ	開催日	10月23日	参加者	目黒区立原町小学校	4年生	64人				目黒区立下目黒小学校	4年生	43人	
オ	開催日	10月24日	参加者	目黒区立下目黒小学校	6年生	39人	コ	開催日	11月1日	参加者	目黒区立田道小学校	5年生	44人
				目黒区立五本木小学校	4年生	34人							
				目黒区立菅刈小学校	6年生	48人							

③「所蔵作品展XVI—からだと出会うとき」

開催日	平成15年2月25日		
参加者	港区立港南小学校	5年生	26人

展覧会関連事業

①第12回 染・清流展 講演会 「クロストーク」(対談)

出演者	河田 孝郎 (染色作家)
	樋田豊次郎 (東京国立近代美術館・主任研究官)
開催日	6月15日 (土) 午後2時~4時
参加者	43人
会場	美術館展示室

②日比野克彦の映像作品とトークショウ (講演と映画)

講師	日比野 克彦 (アーティスト)
開催日	10月12日 (土) 午後2時~4時
参加者	214人
会場	めぐろパーシモンホール

③美術講座「アニメーションの世界1」(上映と対談)

出演者	村田朋泰・真島理一郎 (アニメーション作家)
開催日	平成15年3月8日 (土) 午後1時~4時
参加者	162人
会場	中目黒GTプラザホール

Ⅲ.入館状況

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	1日平均		
第39回 朝日陶芸展	14年4月6日～ 14年5月12日	32日間	8,409人	263人	A,B,C,E,L,W	
第12回染 清流展	14年5月18日～ 14年6月23日	32日間	2,397人	75人	A,B,C,E,L,W	
線の迷宮《ラビリンス》 細密版画の魅力展	14年7月6日～ 14年9月6日	54日間	6,823人	126人	A,B,C,E,L,W	
日比野克彦展 ～ある時代の資料としての作品たち～	14年9月28日～ 14年11月15日	42日間	13,118人	312人	A,B,C,E,L,W	
目黒の美術・書 -2002	14年11月23日～ 15年1月11日	36日間	1,927人	54人	A,B,C,E,L,W	
めぐろの子どもたち展	15年1月18日～ 15年2月2日	14日間	8,761人	626人	A,B,C,E,L,W,G	
所蔵作品展 XVIからだと出会うとき	15年2月22日～ 15年4月6日	32日間 (14年度分)	1,425人 (14年度分)	45人 (14年度分)	A,B,C,E,L,W	全期間38日間 1,938人
合計		242日間	42,860人	173人		

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	1日平均		
美術館協力事業 目黒区民まつり区民作品展	14年9月16日～ 14年9月22日	6日間	3,600人	600人	A,B,C,E,L,W,G	

注 A=展示室A、B=展示室B、C=展示室C、E=エントランスホール、L=展示ロビー、W=ワークショップ室、G=区民ギャラリー

IV.作品等貸出

●平成14年度作品貸出

作家名・作品名	展覧会名	貸出先	会期	貸出期間
篠原有司男 「コニーアイランド遊園地」	ポップ! ポップ!! ポップ!!! 50's~00'sまでのポップアート 展	茨城県近代美術館	平成14年4月5日 ~5月19日	平成14年3月23日 ~5月28日
山本鼎 「フランス風景」	山本鼎生誕120年展・山本鼎その仕事 ~版画と装幀に光りをあてて~	上田市山本鼎記念館	平成14年5月25日 ~6月16日	平成14年5月16日 ~6月19日
里見勝蔵 「雪景」	グラマンク・里見勝蔵・佐伯祐三 展	安田火災東郷青児美術館 ひろしま美術館	平成14年6月15日 ~7月25日 平成14年8月3日 ~9月15日	平成14年6月11日 ~9月20日
森田元子 「裸婦」	岡田三郎助と女性画家の先駆者たち 展	展尾西市 三岸節子記念美術館	平成14年7月6日 ~8月18日	平成14年6月22日 ~8月22日
須山計一 「自画像」(1926) 「雑司ヶ谷の風景」 「我が苦悩は極まれり」 「都会の晴れし夜空に現はれるもの」 「殴られる『彼』衣裳 築地小劇場」 「殴られる『彼』 築地小劇場」 「自画像」(1925頃) 「目白より原宿に至る電車にて」 「暖かい日のスケッチ」 「巢鴨監獄附近」 「雑司ヶ谷スケッチ」(1923) 「静物(果物)」 「静物(花)」 「雑司ヶ谷スケッチ」(1924) 「雑司ヶ谷墓地風景」 「伊那萱垣山願王寺図」 「信州清内路村風景」 「大島岡田村」 「尻尾を出したドルの終焉」(東京バック原画) 「あへく植民地」(東京バック原画) 「暴力団・軍資金」 「御用学者・御用芸術家・反動学生」 「自画像」(1929) 「自画像」(1936) 「仕上げの女達(下絵)」 「鍛工作業(下絵)」 「人物デッサン」(1924頃) 「人物デッサン」(1924頃) 大月源二 「どうぞご心配なく」(東京バック原画) 「一寸こころで一息」(東京バック原画) 稲垣小五郎 「軍縮会議に参ずるアメリカ」(東京バック原画) 「東経百八十度」(東京バック原画) 小野佐世夫 「若さよさらば」(東京バック原画) 「やみの女」(東京バック原画)	須山計一 一人と山河をみつめて- 展	飯田市美術博物館	平成14年9月14日 ~10月25日	平成14年9月4日 ~10月22日
赤穴宏 「作品(岳)」 「新宿副都心」 「静物・スイカ」	《画業55年》赤穴宏 展	北海道立釧路芸術館	平成14年9月28日 ~11月24日	平成14年9月20日 ~12月6日
村井正誠 「ゴルジュ・ドルー」 「ゴルフ・ジュアン」の船 「アラブの店」	中村彝賞記念 村井正誠・須田寿 展	茨城県近代美術館	平成14年11月30日 ~平成15年1月19日	平成14年11月22日 ~平成15年12月6日

●教育普及用教材貸出

教材名	展覧会名	貸出先	会期	貸出期間
「画材の引き出し博物館」より ・天然顔料〔西洋画〕 ・人工顔料〔西洋画〕 ・油絵具と昔と今〔油彩画〕 ・筆の原料 ・筆〔西洋画〕 ・支持体〔油彩画〕 ・顔料から絵具へ〔西洋画〕	手と心-モネ、ドニ、ロダン プログラム	国立西洋美術館	平成14年6月18日 ～平成14年9月1日	平成14年6月10日 ～平成14年9月9日
「素材の引き出し博物館-紙」より ・紙以前-パピルス・バイラ-ン ・紙以前-パーチメント(羊皮紙) ・紙以前-アマテ紙 ・紙以前-タパ ・日本の手漉き紙-こうぞ紙 ・日本の手漉き紙-みつまた紙 ・日本の手漉き紙-がんび紙 ・世界の手漉き紙-中国 ・世界の手漉き紙-韓国 ・世界の手漉き紙-ネパール・インド ・世界の手漉き紙-イタリア ・紙の表情-和紙の形1 ・紙の表情-和紙の形2	紙の工芸 展	国際基督教大学博物館 湯浅八郎記念館	平成14年12月3日 ～平成15年3月7日	平成14年11月22日 ～平成15年3月13日

V.刊行

1 ピリエ（目黒区美術館ニュース）

目黒区美術館では、美術館活動の広報を目的に、美術館ニュース「ピリエ」を発行している。「ピリエ」(Piliers)は、フランス語で「柱、支柱」あるいは「支柱となる人、物」のことで、当館のエントランスホール正面にある4本の柱を意味している。

2 目黒区美術館年報 平成13年度

発行：2003年3月25日

サイズ：A4

ページ数：66頁



ピリエNo.19



年報平成13年度版

VI.区民ギャラリー

	展覧会名	期 間	延べ日数(日)	入場者(人)
1	第5回ゆうの会・徹彩会合同展覧会	4/2~4/7	6	786
2	第12回だん展	4/9~4/14	6	300
3	アート・キッズ展覧会	4/9~4/14	6	150
4	A T E L I E R E B I S	4/16~4/21	6	300
5	ECLECTIC8	4/23~4/29	7	422
6	シボリコミュニティ東京	4/23~4/29	7	439
7	ぶりぶり	5/1~5/6	6	700
8	exhibition East meets West-Photo frontier 2002-	5/8~5/12	5	450
9	5周年記念 日本画作品展	5/14~5/19	6	400
10	すいよう会水彩画・道草油彩画合同展	5/21~5/26	6	290
11	緑が丘パステル画同好会展	5/21~5/26	6	408
12	新匠工芸会春季展	5/28~6/2	6	467
13	東京都立駒場高等学校創立百周年記念美術展	6/4~6/9	6	0
14	着地した光彩	6/11~6/16	6	130
15	並河座	6/18~6/23	6	267
16	えふけい会	6/25~6/30	6	482
17	小さな小さな旅のスケッチ展-渋谷・横浜・東横線の旅-	7/9~7/14	6	500
18	第16回 水耀会展	7/9~7/14	6	483
19	らゆう会	7/16~7/21	6	400
20	第11回目目黒区勤労者美術展	7/23~7/28	6	215
21	鈴木寅二啓之美術展「時間の夢」	7/30~8/4	6	450
22	自由アート2002「時間の表現」	8/6~8/11	6	250
23	目黒区美術家協会展	8/13~8/18	6	350
24	第十回橋本秋睦書展 併催第十八回墨洋書展	8/20~8/25	6	231
25	駅前再開発中目黒ゲートタウン写真展	8/27~9/1	6	185
26	水木会展	8/27~9/1	6	100
27	第14回エンタニ展	9/3~9/8	6	200
28	自由ヶ丘フォトクラブ写真展	9/3~9/8	6	307
29	ネジプロ展	9/10~9/14	5	63
30	第11回白世会	9/10~9/14	5	285
31	平成14年度区民作品展	9/15~9/23	7	3,600
32	ルコンテ展	9/25~9/29	5	166
33	秦智美展	9/25~9/29	5	85
34	翠粋酔展	10/1~10/6	6	150
35	目黒イーゼル会	10/1~10/6	6	260
36	第37回目目黒区の華道展 呈茶会	10/8~10/14	6	690
37	第37回目目黒区文化祭参加自主グループ発表会	10/16~10/20	5	578
38	日韓現代女流作家展=あ・う・ん=	10/22~10/27	6	529
39	第20回萌画会展	10/29~11/4	7	628
40	東京朝鮮学校学生美術展	11/6~11/10	5	1,300
41	第13回一樹会展	11/12~11/17	6	300
42	ユネスコ美術展	11/19~11/24	6	276
43	D 明・暗・美を斬る	11/26~12/1	6	246
44	ペンジュラムの会展	12/3~12/8	6	250
45	正南ほどう作品展展示会 レリーフ・立体「日本とアメリカ」1853-1989	12/3~12/8	6	63
46	立正大学 書道展	12/10~12/15	6	130
47	Z E R O展	12/17~12/23	7	280
48	E e e e e	12/17~12/23	7	130
49	柳瀬父娘展	1/7~1/13	7	178
50	も・の・が・た・り展	1/7~1/13	7	273
51	めぐろの子どもたち展	1/14~2/3	16	8,761
52	Glass Appeal 2003展	2/4~2/9	6	180
53	RAINBOW CHASER (レインボーチェイサー)	2/4~2/9	6	115
54	LOVE & PEACE TSUNAGARI TaMa365 Staff Exhibition	2/11~2/16	6	206
55	早稲田大学芸術学校空間映像科写真ゼミ卒業制作展「非写界深度」	2/18~2/23	6	106
56	第三回「蒼天画会」	2/18~2/23	6	125

展覧会名	期 間	延べ日数 (日)	入場者 (人)
57 杉野服飾大学短期大学部生活芸術科卒業記念展	2/25～3/2	6	376
58 R I K U R I	3/4～3/9	6	235
59 ポプラの会展	3/11～3/16	6	430
60 第2回春水会展	3/11～3/16	6	280
61 Vol.3 A'S展	3/18～3/23	6	350
62 東京造形大学写真部学外展「いろいろ図鑑」	3/25～3/30	6	162
合計		360	19,087

* 「区民作品展」「めぐろの子どもたち展」は本館も同時に開催しているため、ギャラリーの入館者総数にカウントしない。

VII. ボランティア

生涯学習の振興に向けてボランティア活動の重要性が指摘される中、地域においても美術館を通しての社会奉仕活動を希望する人々が多く存在するようになってきた。美術館としてもそのような要望に応え、また住民のニーズを把握し、美術・文化活動の地域への振興を図っていくためにボランティア活動を積極的に援助し、活用していく必要がある。

目黒区美術館では、昭和62年11月の開館時よりボランティアを受け入れ、現在はラウンジ(喫茶コーナー)の運営、ワークショップや広報活動補助等を中心に、幅広い活動を目指している。

1. ボランティア数 83名

2. 活動内容

(1) ラウンジ運営—ラウンジ営業部

活動時間：午後12時30分～4時30分

(ラウンジ営業時間は、展覧会会期中の午後1時から4時まで)

当番：原則として毎日2名

(2) ワークショップ企画・運営—学芸部トイコレクション班

「線の迷宮〈ラビリス〉—細密版画の魅力」展ファミリーワークショップ

〔くるくるまわし、ころころころがし、つなぐ線の道〕(Eコース)

日時：7月21日午後1時～4時

参加者：32名(家族16組)

(3) チラシなどの発送作業—広報部広報班

年9回 延べ35名

(4) トイ・コレクション アウトリーチ活動—学芸部トイコレクション班

*昨年に引き続き、下記の日程でアウトリーチ(出張美術館)活動実施。

① トイで描こう! マル・サンカク・シカク

実施日時：5月25日(土) 午後2時～3時30分

場所：目黒区民センター児童館

参加人数：34名

② トイと紙でつくるランドマーク — 地上の目じるし

実施日時：12月14日(土) 午後1時30分～3時

場所：目黒区民センター児童館

参加人数：

③ トイと紙でつくるランドマーク〈パート2〉 — 地上の目じるし

実施日時：

場所：大岡山小学校学童保育クラブ

参加人数：



(5) 資料整理

年7回 毎回2名

(6) その他

曜日別見学会・総会実施

3. 年間活動記録

① バスツアー

実施日：11月17日(日)

行き先：群馬県立館林美術館・埼玉県立近代美術館

参加者：46名

VII. 美術館実習

学芸員資格取得単位修得のため、当館において実習を希望したい旨の依頼が多くあることから、検討の結果、平成8年度を初年度としてこれを受け入れ、平成14年度は7回目となる。

実習期間、実習内容等については、担当学芸員との面接により決定する。

(提出書類) 履歴書、アンケート、学長からの依頼書等。

平成14年度・実習生13人

- ・実習期間 8日～22日間
6月初旬～12月下旬

Ⅸ.名簿

(1) 財団法人目黒区芸術文化振興財団理事・監事

(順不同、平成15年3月31日現在)

役職	氏名	備考
理事	大塩晃雄	目黒区教育委員会教育長
〃	貝川 肇	東京商工会議所目黒支部副会長
〃	長澤 三郎	(財)目黒区芸術文化振興財団
〃	後藤 美代子	徳島文理大学文学部教授
〃	真室 佳武	東京都美術館長
〃	加藤 玲子	目黒ユネスコ協会会長
〃	岡 弘道	くらしき作陽大学客員教授
〃	加藤 芳照	目黒区教育次長
〃	橘田 恵美子	洗足学園大学教授
〃	朝倉 健吾	上目黒2丁目地区市街地再開発組合理事長
監事	石原 一郎	税理士
〃	岡本 啓恵	目黒区副収入役

(2) 財団法人目黒区芸術文化振興財団評議員

(順不同、平成15年3月31日現在)

役職	氏名	備考
評議員	二ノ宮啓吉	目黒区議会議員
〃	下岡興治	目黒区議会議員
〃	川崎恵利子	目黒区議会議員
〃	沢井正代	目黒区議会議員
〃	千葉泰男	目黒区立宮前小学校長
〃	遠藤正則	目黒区立第11中学校長
〃	赤穴 宏	洋画家
〃	田淵保夫	書作家
〃	安原 喜孝	陶芸家
〃	岡田 嘉子	目黒区子ども会連合会副会長
〃	笹川文彦	目黒区住区住民会議連絡協議会
〃	望月 昇	目黒区文化団体連合会常任理事
〃	井上正男	連合目黒地区協議会副議長
〃	鷺見康郎	目黒クラシック音楽家協会
〃	今中美耶子	弁護士
〃	平田オリザ	劇作家
〃	飯塚敦子	自由が丘女声合唱団
〃	松野下健	都立大付属高校副校長
〃	丹野稔	(財)日本余暇文化振興会

(3) 目黒区美術館資料収集委員会

(順不同、平成15年3月31日現在)

役職	氏名	備考
委員	細野 正信	元高崎タワー美術館館長
〃	長谷部満彦	茨城県陶芸美術館館長
〃	原田 光	神奈川県立近代美術館専門学芸員
〃	猿渡紀代子	横浜美術館学芸部企画課長 〃
〃	松本 透	東京国立近代美術館美術課長

X. 施設

●工事概要

建築

所在地：東京都目黒区目黒二丁目4番36号
地域・地区：住居地域・準防火地域・第3種高度地区
敷地面積：2,033.53㎡
建ぺい率：66.45%
容積率：199.61%
構造・規模：鉄骨鉄筋コンクリート造
地上3階・地下1階

建物高さ：17.89m
延床面積：4,059.21㎡

構造

主体構造：鉄骨鉄筋コンクリート造
その他：外壁花崗岩貼りジェットバーナー仕上げ（乾式工法）
工期：着工昭和60年12月2日
竣工昭和62年3月31日
設計・監理：株式会社日本設計事務所
建築：株式会社竹中工務店東京本店
空調設備：株式会社朝日工業社本店
衛生設備：足立工業株式会社東京支店
電気設備：中国電気工事株式会社東京支店
昇降機設備：横浜エレベータ株式会社

●面積表

展示・教育普及

展示室A：319.10㎡
展示室B：170.46㎡
展示室C：65.80㎡
展示ロビー：44.80㎡
ワークショップ：148.47㎡
廊下・階段・その他：203.17㎡
小計：951.8㎡

区民ギャラリー

区民ギャラリー：379.53㎡
控室：14.5㎡
区民ギャラリーエントランス・階段・その他：198.82㎡
小計：592.85㎡

研究調査

資料室：102.79㎡
修復室：46.09㎡
小計：148.88㎡

収蔵

収蔵庫A：408.36㎡
収蔵庫B：53.85㎡

前室：48.53㎡
荷解室：62.58㎡
搬出入口：56.57㎡
展示用具室：73.40㎡
エレベーター・倉庫・その他：229.63㎡
小計：932.92㎡

管理

事務室：58.05㎡
館長室：32.47㎡
理事長室：24.58㎡
中央管理室：20.64㎡
休養室：24.29㎡
ワークショップ準備室：31.36㎡
映像準備室：14.40㎡
廊下・階段・その他：178.18㎡
小計：383.97㎡

ホール等

エントランス：169.85㎡
ラウンジ：55.84㎡
ベビーコーナー：5.27㎡
廊下・その他：343.58㎡
小計：574.54㎡

機械室等

機械室：277.14㎡
電気室：67.59㎡
エレベーター機械室・自家発電電気室・その他：129.52㎡
小計：474.25㎡

合計：4,059.21㎡

XI. 沿革

- 昭和45年 長期計画基本構想で「芸術文化の振興の拠点として総合文化施設の設置」を決定
- 昭和54年 7月 長期計画実施計画で「美術館の設置」を決定
12月 美術館開設準備室設置
- 昭和55年 3月 目黒区美術博物館建設検討委員会設置
4月 「東京都目黒区博物館資料取得基金条例」施行
- 昭和56年 1月 目黒区美術博物館建設検討委員会答申「目黒区が建設する美術博物館の基本構想のあり方について」
3月 目黒区美術博物館建設専門委員設置
4月 目黒区美術博物館(仮称)設置の方針策定
11月 目黒区立美術館(仮称)資料収集委員会要綱を制定
- 昭和57年 2月 博物館併設構想から美術館単独構想へ変更
3月 第一回資料収集委員会開催－資料収集を開始
10月 区制施行50周年記念事業に位置づけ
- 昭和59年 2月 目黒区美術館(仮称)基本構想策定(58年6月策定開始)
10月 目黒区美術館(仮称)基本設計策定
- 昭和60年 3月 目黒区美術館(仮称)実施設計策定
6月 目黒区美術館開設準備委員・臨時委員設置
8月 目黒区美術館開設準備顧問就任
目黒区美術館マーク制作
11月 「プレビュー・目黒区美術館」展開催(11/12-11/17)
12月 目黒区美術館(仮称)新築工事起工式(12/12)
- 昭和61年 7月 美術館管理運営の財団委託方針決定
9月 「プレビュー・目黒区美術館2」展開催(9/9-9/15)
12月 目黒区美術館(仮称)新築工事定礎式(12/5)
- 昭和62年 3月 「目黒区美術館条例」公布
4月 目黒区美術館新築工事落成式(4/14)
10月 財団法人目黒区芸術文化振興財団設立(10/1)
11月 目黒区美術館開館(11/15)

XII. 案内

観覧時間：午前10時～午後6時

(ただし入館は午後5時30分まで)

休館日：月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)
年未年始

観覧料： 展覧会ごとにその都度定める。



交通案内：

- JR山手線目黒駅(西口)、東急目黒線(都営三田線、営団南北線)
目黒駅より徒歩10分
- バス、渋谷駅より東急 渋41-大井町駅行、田道小学校入り口
下車3分

目黒駅より、東急、都営
黒01-大岡山小学校行
黒02-二子玉川園行
黒06-三軒茶屋行
恵73-弦巻営業所行
東98-等々力操車場行



榎之助坂
下車5分

平成14年度

目黒区美術館年報

平成16年3月25日発行

編集・発行—目黒区美術館

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36

Tel. 03-3714-1201(代)

印刷——(株)大塚工芸